

令和2年度

下野市

図書館評価報告書

令和3年7月

下野市立図書館

目 次

1. はじめに	
(1) 趣 旨	1
(2) 図書館評価の対象と評価方法について.....	2
2. 総合評価（外部評価）	4
3. 図書館協議会委員による意見.....	5
4. 総評.....	7
5. 図書館協議会委員名簿.....	8
6. 図書館協議会会議の開催	8

関係資料

- ・事業評価シート

1. はじめに

(1) 趣旨

本市では、平成25年度から、民間のノウハウを図書館運営に反映するため、石橋・国分寺図書館に指定管理者制度が導入されました。平成29年度からは南河内図書館を含め市内図書館3館全てが指定管理者制度の導入となりました。図書館の市職員と指定管理者がともに「子ども・市民の豊かな心の育成と地域文化の向上を目指して」を基本理念に、地域に開かれた効率的な図書館運営に努めてきました。

また、平成24年度の公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準の改正に伴い、県内各図書館に先駆けて平成26年度事業から図書館評価を始めました。

本年度も引き続き図書館評価を実施し、その結果をとおして今後の図書館運営の改善等に繋げ、さらなる向上を図ってまいります。

図書館評価に関する法令・基準の抜粋

◎図書館法

第七条の三 図書館は、当該図書館の運営の状況について評価を行うとともに、その結果に基づき図書館の運営の改善を図るため必要な措置を講ずるよう努めなければならない。

◎公立図書館の設置及び運営上の望ましい基準

(平成24年12月19日文科科学省告示第172号)

第二 公立図書館

一 市町村立図書館

1 管理運営

(一) 基本的運営方針及び事業計画

1 市町村立図書館は、その設置の目的を踏まえ、社会の変化や地域の実情に応じ、当該図書館の事業の実施等に関する基本的な運営の方針（以下「基本的運営方針」という。）を策定し、公表するよう努めるものとする。

2 市町村立図書館は、基本的運営方針を踏まえ、図書館サービスその他図書館の運営に関する適切な指標を選定し、これらに係る目標を設定するとともに、事業年度ごとに、当該事業年度の事業計画を策定し、公表するよう努めるものとする。

(二) 運営の状況に関する点検及び評価等

1 市町村立図書館は、基本的運営方針に基づいた運営がなされることを確保し、その事業の水準の向上を図るため、各年度の図書館サービスその他図書館の運営の状況について、(一)の2の目標及び事業計画の達成状況等に関し自ら点検及び評価を行うよう努めなければならない。

2 市町村立図書館は、前項の点検及び評価のほか、当該図書館の運営体制の整備の状況に応じ、図書館協議会（法第十四条第一項に規定する図書館協議会をいう。以下同じ。）の活用その他の方法により、学校教育又は社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者、図書館の事業に関して学識経験のある者、図書館の利用者、住民その他の関係者・第三者による評価を行うよう努めるものとする。

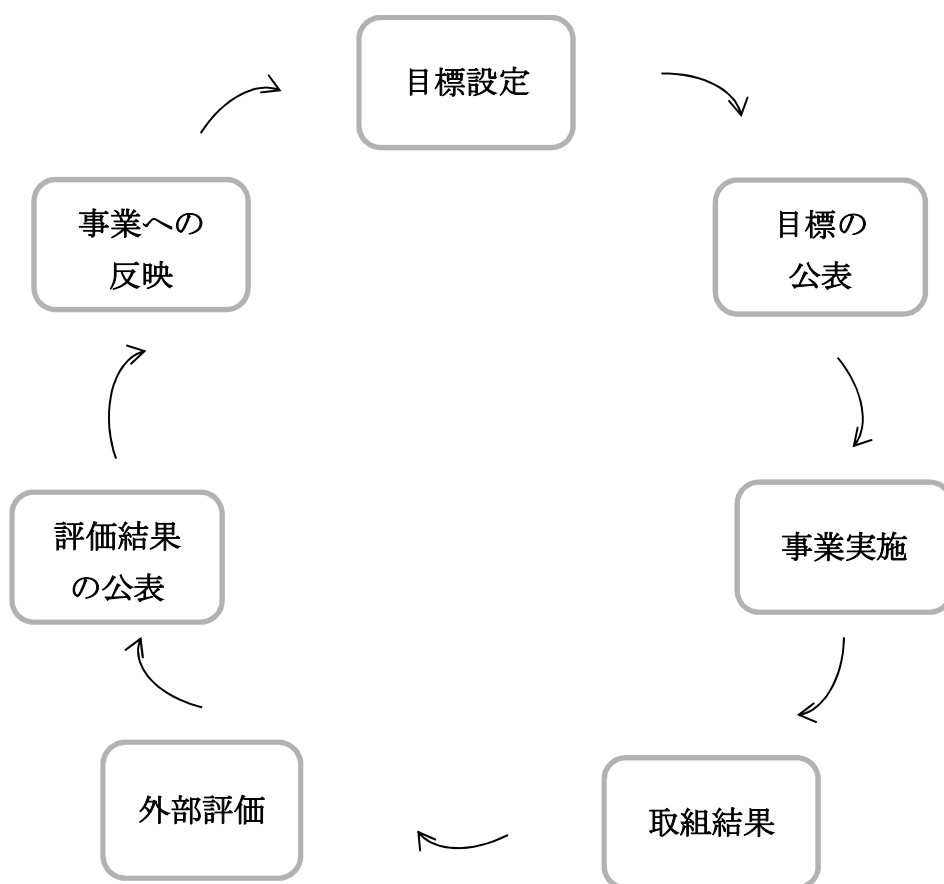
(2) 図書館評価の対象と評価方法について

下野市立図書館設置条例に規定されるすべての図書館の運営及びサービス全般を対象とし、市民の代表者である図書館協議会による外部評価を実施し、外部評価をもって総合評価といたしました。今回の評価結果に基づく課題の改善点などを所見としてまとめ、翌年度以降の事業に反映することといたしました。

評価方法については、5つの大項目と14の中項目に分類したうえで、34の小項目を定め、「中期的計画」・「単年度目標」を評価指標とし、評価してまいりました。

平成28年度より「取組結果」に応じて《評価基準》の中項目の評価基準によりA～Dを決定し各中項目の評価を決定いたしました。

図書館評価のながれ



《評価基準》

小項目＝参考

評 価	評価内容及び基準
A	計画通り事業を実施し、目標水準を超える成果がある。
B	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしている。
C	計画通り事業を実施し、目標水準を満たしているが、一部に課題がある。
D	計画した事業、目標水準を満たしておらず、改善が必要である。

中項目・大項目評価

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

総合評価（外部評価をもって総合評価とします。）

評 価	評価内容及び基準
A	当該分野について、優れている。
B	当該分野について、概ね適正である。
C	当該分野について、改善が必要である。
D	当該分野について、相当な改善が必要である。

2. 総合評価（外部評価）

大項目	中項目	小項目	石橋図書館	国分寺図書館	南河内図書館
			総合評価	総合評価	総合評価
I 知識 点と 図書 情報 の 掘	1.市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実	1.資料の収集と保存	B	A	B
		2.市民ニーズを把握した図書の収集			
	3.サービスの提供の向上	1.インターネットによる調べ物の支援	B	B	B
		2.より容易で効率的な資料・情報の提供			
II 子 推 進 す る 読 書 活 動 を	1.学校との連携による子ども読書活動の充実	1.学校図書館支援	B	A	A
		2.小学校への読書普及活動の充実			
	2.家庭での読書活動の支援	1.親子で読書を楽しむきっかけづくり	B	B	B
2.子ども読書活動を促進する保護者対象事業					
3.図書館情報の周知					
3.子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実	1.児童書の充実	B	A	B	
	2.小中学生向けの講座や読書案内の充実				
	3.児童書の貸出冊数、市内小学校への団体貸出冊数				
III 利 用 し や す く 役 立 つ 図 書 館	1.柔軟な運営体制の構築	1.図書館評価	A	A	B
		2.民間企業の図書館活動への参加			
	2.利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実	1.レファレンスサービス	B	B	B
		2.レファレンス受付件数			
3.相互貸借					
3.利用者の要望に応じたサービスの充実	1.図書館サービスの充実	A	A	A	
	2.所蔵資料の活用				
	3.リサイクル				
4.誰もが利用しやすい図書館サービスの提供	1.乳幼児・児童サービス	B	B	A	
	2.高齢者サービス				
	3.障がいを持っている方へのサービスを充実します				
	4.外国人の方へのサービスを充実します				
	5.市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します				
IV 郷 土 の 文 化 の 掘 り 出 し	1.地域情報の収集、保存、提供	1.地域資料・行政資料	B	B	B
	2.郷土資料の積極的な収集、保存、提供	1.郷土資料	A	B	B
2.地域ゆかりの関係資料					
V 市 民 と と も に あ る 図 書 館	1.生涯学習の機会や交流の場の提供	1.図書館ボランティア	B	A	B
		2.レファレンス室資料の充実			
		3.開かれた図書館			
2.市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現	1.ボランティアの養成と支援	B	B	B	
	2.市民協働事業				
3.利用者への接遇の向上	3.職員の接遇と人材育成	B	B	B	

3. 図書館協議会委員による意見

(1) 石橋図書館

- ・各小学校への団体貸出に保護者の協力を得られたことは評価できる。
- ・ビジネス支援コーナーはコロナ禍の中適切な設置だと考える。また、これから先の働き方改革の中、必要なことだと考える。
- ・下野歴史学講座の開催は、より地元を知る原動力になる。開催する講座の継続を願う。
- ・点字絵本の収集は、「点字」の存在を知らなかった子どもたちにとっても有意義なことと考える

<課題>

- ・もっとグリム関連の資料を前面に出し、特色をアピールした方が良い。
- ・石橋図書館の特色としてドイツに関する資料を充実し、それらの資料の紹介なども行って広く市民の利用に供するよう努めていただきたい。
- ・ボランティアの養成は質の向上のため必要である。参加しやすい方法で検討していただきたい。

(2) 国分寺図書館

- ・自治医大の予防講座は勉強になるのでぜひ続けて欲しい。
- ・以前からの課題であったトイレの改良に一步前進の努力をされたことは評価できる。今後とも引き続き室内環境の改善に努力願いたい。
- ・コロナウイルスについての企画・展示は良かった。
- ・教科書関連図書の背に掲載学年が分かるラベルを貼ったのは良い工夫である。

<課題>

- ・医療関係資料の所蔵を充実することは結構なことだと思うが、その利用者があまり多くないなど死蔵されてしまうのではもったいない。国分寺の特色である医療関係の資料をできるだけ広く利用されるよう工夫することも必要。
- ・ティーンズ読書クラブの位置付けが分かりにくいので、ホームページに掲載するなど広報をしっかりとやるとよい。
- ・難しいと思うがエレベーターの設置を望む。高齢者にとって階段はきつい。

(3) 南河内図書館

- ・学校との連携の素晴らしさを感じる。定期的訪問や情報交換などは継続して欲しい。
- ・季節の行事に合わせたイベントに工夫が見られ「また来たい」という気持ちを起こさせる雰囲気がある。
- ・玄関を入ったよく目立つ場所に各図書館ボランティアの紹介があり、情報が書かれた小さなチラシが団体毎に持っていけるように用意されているのは、興味を持ってもらうためにも大変良い工夫である。
- ・室内照明の LED 化など、利用者のため室内環境の整備に努めていることを評価したい。

<課題>

- ・2階ホールが居心地の良い空間になるような工夫を望む。
- ・英語版の図書は、外国人向けという視点の他に中高生に活用してもらえものとしての視点があってもよい。
- ・歴史ある下野市なので、ぜひ郷土に関する講座の開催の実現を願う。

(4) 全図書館

- ・雑誌スポンサー1社を発掘した努力を評価したい。これが呼び水となるようにスポンサーとなった業者への何らかのメリット付与について、今後検討して欲しい。
- ・特設コーナーや講座と関連したコーナーを設けることは、来館者の関心を引き貸出数に寄与すると思う。
- ・コロナ感染症対応の為、昨年度との数値比較はあまり意味がないかもしれないが、休館や開館時間短縮の中、市民によく活用されていると思う。

<課題>

- ・ホームページに雑誌スポンサー募集の掲載が見当たらないので、通年で掲載してはどうか。
- ・最近の本は装丁なども工夫されていて手に取ってみたいくなる。新しい本と入れ替えることもよいと思う。
- ・コロナ感染防止対策のために講座などが中止になったのは残念である。

4. 総評

図書館協議会の総合評価（外部評価）において、各図書館とも概ね適正に運営がされていると評価します。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、講座やイベントの中止、開館時間の短縮や臨時休館等により充実した図書館活動ができませんでしたが、各館が対策を講じながらイベントを開催する等、努力の跡が見られました。

県内の図書館が、新型コロナウイルス感染拡大防止対策により次々と臨時休館となる中、完全休館を避けるため時間短縮をしながらも貸し出しを実施し、県内で最後に臨時休館としたことは、市民の読書活動を継続することができたと言えます。また、体温検温器や図書除菌機の設置により、安心・安全の環境の整備ができました。

新型コロナウイルス感染症の影響で目標の多くが減少してしまった一方、インターネット予約件数のように増加したものもあり、インターネットを利用したサービスの向上は今後ますます必要であると考えます。

今年度は当初から、新型コロナウイルスの影響で三密を避けるため諸々の活動に制限が課せられ、計画通りに活動ができなかったという面がありますが、その間を利用し、室内環境の整理や工夫を凝らした資料の展示、書架のレイアウト変更等に努めたことは評価できます。

しかしながら、今年度の課題として各種サービスに於いても次年度への変更点・改善点として事業に反映していくことが必要と考えます。まずは横軸として図書館間の情報共有と特色ある取り組みの住み分け、縦軸としての学校や他機関との連携を図る等、さらなる改善点に取り組むことで、図書館のより一層の発展を祈念します。

5. 図書館協議会委員名簿

氏 名	所 属 等	備考
青木 ムツミ	学識経験者	
鈴木 一恵	学識経験者	
大垣 玉枝	学識経験者	
晴山 育子	石橋図書館ボランティア	
下山 千恵子	国分寺図書館ボランティア	
松本 有幸	南河内図書館ボランティア	
高木 智子	公募委員	
小林 直子	公募委員	
設楽 孝男	南河内第二中学校長	
宮川 長一	国分寺小学校長	令和2年度委員
高橋 修一	国分寺小学校長	令和3年度委員

6. 図書館協議会会議の開催

図書館協議会は、図書館法第14条及び下野市立図書館設置条例に基づき設置されています。図書館評価については次のとおり開催いたしました。

開 催 日	会 議 内 容
令和2年12月11日(金)	取組結果のプレゼンテーション
令和3年3月12日(金)	外部評価実施について
令和3年5月19日(水)	外部評価実施について
令和3年7月16日(金)	評価結果報告・公表について

関 係 資 料

- ・ 事業評価シート

令和2年度事業評価シート(様式1)

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
I 知識と情報の拠点としての図書館							
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実							
		1 資料の収集と保存	ア)市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります	石橋図書館の特色であるグリム関連の資料や郷土資料の収集に努め充実を図ります。	記述	郷土資料(基準日12月末日) 受入冊数:47冊(前年度比109%) グリムに関する資料(基準日12月末日) 総冊数:345冊 グリム関係資料で基本的な資料は概ね収集しております。 また、ドイツに関する資料の総冊数は359冊となりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土資料が1階では2か所にありました。しかし2階にも資料があるとの表示はありましたが互いの位置の表示は見た覚えがありません。さらに2階には上がれないようになっていたのにそれに対する表示もありませんでした。きめ細かい表示があるとより良いのではないかと思います。 ・グリムに関してのコーナーのようなものが見あたらず残念です。あったとしたらもっとわかりやすくPRしてください。 ・グリムに関する資料などの収集は継続してほしい。 ・ドイツに関する資料の内容が定かではないが、石橋図書館の特色としてドイツに関する資料を充実することは結構である。同時にそれらの資料の紹介なども行って広く市民の利用に供するよう努めて頂きたい。 ・ドイツ関連の本が増えました。ドイツと日本を比較した本がおもしろかったです。いろんな視点から探ってみました。 ・レファレンス業務は多様化するニーズに応えるためにあらゆる情報の収集が必要です。多様な資料の収集は役に立つことと考えます。 ・長期の休みの中、予約件数が前年比の96%となったことは評価に値すると思います。 ・アンケートなどを通し市民の図書館への要望を把握し、答えてほしい。
			イ)参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	利用者へのレファレンスに対応できるように幅広い資料の収集に努めるとともに、県立図書館との協定による永年保存雑誌14点を継続して保存してまいります。	記述	参考資料(基準日12月末日) 29冊(前年度比94%)	
		2 市民ニーズを把握した図書の収集	市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	予約やリクエスト、アンケートの結果を考慮し、書評等幅広い情報を収集して市民への資料提供に努めます。	記述	予約件数(基準日12月末日) 8,374件(前年度比96%) リクエスト件数(基準日12月末日) 172件(前年度比43%) 来館者へのアンケートを7月25日(日)～8月9日(日)に行いました。	
		取組実績		郷土資料の受入れ冊数は前年度比109%と数値が上回りました。グリム関連資料についてはすでに多くの資料を所蔵しておりますが、新たに発行されたものについても収集に努めています。貸出においてもグリム関係の児童書が多く貸し出されていたようです。今後も、ドイツ関係の資料も併せて石橋図書館の特色として収集に努めてまいります。リクエストサービスの数値の減少は、新型コロナ感染拡大防止のため前期においてサービスを休止していたことが原因と考えられます。今後はサービスの再開を広く周知し、資料の提供に努めてまいります。			
3 サービスの提供の向上							
		1 インターネットによる調べ物の支援	利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	引き続き利用者用パソコンを周知して利用の促進に努めるとともに、インターネットによる迅速な情報提供と図書資料を併用したレファレンスサービスの充実にも努めます。	記述	現在、新型コロナ感染拡大防止のため館内用OPACが利用できない状況において、資料検索ツールとして利用者用パソコンの案内を積極的に行っています。また利用者の求めに応じて検索の方法やレファレンス検索サイトのアドバイス、図書資料の提供も行いました。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の影響が及んでかなりの期間が経ちましたが、いまだにOPAC使用ができないのが解せません。インターネット用PCは使用できるのでさらに不思議に思っています。 ・下野新聞データベースのポスターやチラシを館内で数カ所見ることができPRに努めていっしょなことがわかります。しかし「当図書館で利用できます。利用希望の方は…」などの具体的な案内が見られないので、興味がありながら利用できると思わない人もいらっしゃるのではないかと思います。わかりやすいPRをお願いします。 ・実行された施策が実を結んだ結果となったことを喜ばしく思います。コロナ終息後も続けられるとよいのではないのでしょうか。 ・コロナ感染拡大防止によりインターネットによる予約件数は増加傾向にあり、利用者の利便につながっていますね。 ・高齢者への支援の企画を。
		2 より容易で効率的な資料・情報の提供	デジター図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	下野新聞のデータベースの活用をホームページや広報等で広くPRし、利用者に容易で効果的に情報を提供できるよう努めます。	記述	新型コロナ感染拡大防止により、前期は利用者用パソコンの使用を休止しておりました。サービスが再開となりましたのでデータベースの活用について広くPRしてまいります。	
		取組実績		新型コロナ感染拡大防止により休館や各種サービスを休止していた中で、インターネットによる予約件数は3館合計で、令和元年度 7,355件→令和2年度 9,583件(前年度比130.0%/基準日12月末日)と増えました。自宅においてもパソコンから図書館の検索画面にアクセスして予約できることが市民に周知されてきている結果と思われる。館内の利用者用パソコンでも同様であることを案内していますので、調べ物の支援と併せて引き続き案内してまいります。			

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価 単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
II 子どもの読書活動を推進する図書館								
1 学校との連携による子ども読書活動の充実								
	1	学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	引き続き学校への団体貸出の配送で定期的に訪問して、学校と図書館間の情報を共有し、さらなる連携を目指します。	記述	今年度は、新型コロナ感染拡大防止により4月から5月の期間、学校への訪問ができませんでした。6月から再開した団体貸出とあわせて学校へ訪問し、情報を共有しております。今後も児童生徒の求める資料の提供に努めてまいります。		・貸出の新たな取り組みが進められ、貸出冊数が増えたことはすばらしい。 ・感染症対策の為、学校との連携が難しい年でした。次年度以降に期待します。 ・学校図書館との連携の強化を望みます。貸出をすることにより子どもの読書環境を充実させていきたい。 ・各小学校への団体貸出に保護者の協力を得られたことは評価します。早く普通の生活に戻れるといいですね。
	2	小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出により、身近に本のある環境を作ります	学校への団体貸出しを行い、学習内容に沿った資料の選書を考慮しながら子どもの読書環境の充実を支援します。	記述	細谷小学校、石橋北小学校には保護者の協力をいただき団体貸出を行いました。新型コロナ感染拡大防止により4月から5月の利用はありませんでしたが、1,086冊(基準日12月末日/前年度比106%)の貸出がありました。学校の要望に応じて選書のアドバイスも行いました。読書環境の充実の一助に繋がっていると思います。		
			イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	図書館ボランティアによる小学校への読み聞かせを継続して実施いたします。	記述	例年、朝の読書活動や読書週間に併せて実施していましたが、今年度は新型コロナ感染拡大防止対策として3密を避けるため、小学校への読み聞かせは休止となりました。細谷小学校は11月下旬から再開しました。		
取組実績			保護者や学校関係の方の来館による団体貸出の際に、事前に借りたい資料のリストを提出していただくことができました。前もって資料の選書が可能となり時間をかけずに貸出の手続きができております。小学校への読み聞かせにつきましては、再開次第ボランティアの皆様のご協力のもとに実施してまいります。					
2 家庭での読書活動の支援								
	1	親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	おはなし会や親子で参加できるイベントを開催し家庭における読書のきっかけづくりに努めます。	記述	新型コロナ感染拡大防止によりおはなし会をはじめとするイベントは9月まで休止となりました。ボランティアの皆様のご協力のもと、通常のおはなし会及びイベントを10月から徐々に再開しております。3密を避けながらの開催のため参加者は少数ですが、感染対策をとりながら実施してまいります。		・コロナの影響が大きいです。 ・新型コロナ感染拡大防止のため計画どおりの取り組みは出来ない中、感染対策をとりながら細々と実施したことは評価します。 ・コロナ禍でイベントの実施は大変だったと思います。少人数で回を増やすなど対策を講じての実施と案内をお願いします。 ・親子で楽しめる“おはなし会”の開催の継続を望みます。 ・図書館だよりやイベントなど案内を学校など各施設に配布していただきたい。 ・今後の状況が見通せない中、今まで行ってきたようなイベント以外での何らかの工夫を示していただけると良かったと思います。
	2	子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	家庭での読書推進を図るため、市内図書館で開催する講座に協力いたします。	記述	新型コロナ感染拡大防止により9月までイベントを休止しました。今後も状況を見ながら開催の検討をしております。		
	3	図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通した図書館情報の周知を図ります	図書館だよりやイベント案内を石橋地区の保育園等に配布し情報の周知を図ります。	記述	新型コロナ感染拡大防止により9月末日までイベントを休止したため配布できませんでした。10月以降徐々にイベントを再開している状況ですので案内の配布も再開いたします。		
取組実績			通常のおはなし会は10月からようやく再開することができましたが、未就学児対象の小さなおはなし会はまだ休止しています。3密を避けることが難しい講座については状況をみながら基幹職員と協議の上、開催の検討をしております。					
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実								
	1	児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	課題図書等の優良図書を積極的に収集するとともに、ニーズに合った資料を充実させるため情報を収集し、常時リクエストを受け付けます。	記述	課題図書やすいせん図書、厚労省「子どもたちに読んでほしい本」を昨年度に引き続き収集し、展示をしました。また児童書の見計らい選定を行いました。実際に内容を見て選書ができたことは、子どもたちに必要な資料の充実につながっていると思います。		・子どもの活動に制限がある中、できる時期できることを考え実施していただいたことはすばらしいことと思います。次年度は完全実施できることを願っています。 ・ジュニアリーダースクラブの学生との連携を進めるのもよいと思う。 ・図書ガイドは活用されていて嬉しいです。又、児童書の収集、高学年向けの図書ガイドも手引きになると考えます。 ・学校などへの図書ガイドの配布を望みます。
	2	小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めていきます	学校からの申し出に応じ施設見学や職場体験を行い、図書館への関心を深めていきます。	記述	子ども司書講座は新型コロナの影響で今年度は中止になりましたが、ジュニアリーダースクラブに参加している学生の受入を12月に実施しました。施設見学も9月まで休止していましたが、10月から再開し、2校の受け入れをしました。初めて本を借りた児童も多く、こうした施設見学で図書館に関心を持っていただく機会になったと思います。今後も感染対策を十分に行いながら実施してまいります。		
			イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	子ども向けの読書案内の充実を図るため、小中学生向きのおすすめ本・新着本のリストを年4回、各学校に配布する他、おすすめ図書ガイドを継続して作成いたします。	記述	今年度は高学年向けの図書ガイドを各ボランティアの皆様にご協力いただき作成しています。 新着本・おすすめ本のリストを「本のおたより」として年4回配布しています。図書ガイドは何を借りたらよいか迷っている利用者にも、とても好評を得ております。		
	3	児童書の貸出冊数、市内小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 令和2年度 児童書…142,283冊 → 150,000冊 団体… 23,790冊 → 30,000冊	各館 令和元年度 → 令和2年度 児童書…59,598冊 → 61,100冊 団体… 2,745冊 → 3,000冊	数値	児童書貸出(基準日12月末日) 37,088冊(前年度比80%) 市内小学校への団体貸出(基準日12月末日) 2,167冊(前年度比104%)		
取組実績			貸出冊数の減少は新型コロナ感染対策として臨時休館や時短閉館によることが原因と考えられます。学校への団体貸出冊数につきましても同様です。現在は徐々に貸出冊数が戻りつつある状況と言えます。					

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							外部評価 (図書館協議会のコメント)
Ⅲ 利用しやすく役立つ図書館							
1 柔軟な運営体制の構築							
		1 図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	図書館の外部評価を基に基幹職員と協議し改善いたします。	記述	東側のおはなしコーナーに季節ごとの壁面飾りを始めました。以前に比べて明るい雰囲気になりました。西側の円形のコーナーにはビジネス支援コーナーを設置しました。多くの方に利用していただくように資料の充実とPRIに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> 壁面装飾は雰囲気も明るくなり来館の楽しみも増えるので、ぜひ定期的の実施するようお願い。 ビジネス支援は多くの図書館で取り組まれています。下野市図書館では初めてではないでしょうか。知と情報の拠点として大事に育ててほしいと思います。 市内業者へのスポンサーの働きかけはお疲れ様でした。せっかくの芳志に報いるため何らかのささやかな形でメリットを付与する工夫をすべきではないか。 雑誌スポンサーの募集のHP掲載は今は見当たらない。通年でHPに掲載してはどうか。 ※コメント多数のため抜粋して掲載(総評欄参照)
		2 民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	雑誌の種類の実践が望める雑誌スポンサー制度の周知とオーナーの募集をHP・ポスター・FMゆうがお等を通して広く周知を図ります。	記述	市内の業者に働きかけておりましたところ、1社にオーナーになっていただけることになりました。次年度から市内3館にそれぞれ1誌ずつ提供予定です。今後も周知と募集を図ってまいります。	
取組実績			館内の照明の不具合を修繕し、暗かった場所が明るくなりました。また、おはなしコーナーも季節ごとに工作物を飾り明るい雰囲気になるよう工夫しました。今後も基幹職員と協議しながら改善に努めてまいります。				
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実							
		1 レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います	市内施設の情報迅速に提供できるよう基幹職員を通じ、パンフレットを収集いたします。	記述	市内施設で作成されたパンフレットや、事業のポスターやチラシを基幹職員を通じて収集しました。レファレンスの参考資料として提供したパンフレットも何点もありました。今後も資料の収集に努めてまいります。	<ul style="list-style-type: none"> ポスターやチラシなどは後々役に立つことが多々あります。収集を続けてください。 レファレンスの記録は重要します。ぜひ継続してください。 レファレンス受付数が増加しているのは、それだけ短時間で必要な本を探したいという表れかもしれない。今後も増える可能性があるため迅速な対応をしてほしい。 利用者が声をかけやすい雰囲気は重要なことです。これからも持続を。 明るくわかりやすく丁寧な対応、良い接遇の賜物だと思います。
		イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります		レファレンスに対応できる蔵書の充実をはかるため、レファレンスの記録をいたします。3館のスタッフ間での情報共有にも努めてまいります。	記述	以前受けたレファレンスと同じ内容のレファレンスが来た際に、レファレンス記録を確認することで迅速に参考資料を提供することができております。事例紹介につきましては今後利用者で紹介できるように準備してまいります。	
		2 レファレンス受付件数	全館 平成26年度 → 令和2年度 5,929件 → 6,600件	各館 令和元年度 → 令和2年度 1,407件 → 1,800件	数値	レファレンス受付件数(基準日12月末日) 1,331件(前年度比126%) ※レファレンスサービス再開8月1日から	
		3 相互貸借	県内図書館との相互貸借により、リクエストに応えます	幅広いリクエストに対応するため県内図書館や国会図書館等から相互貸借を利用して、市民へ資料の提供を行います。	数値	県内図書館の借受数(基準日12月末日) 195件(前年度比65%) ※相互貸借サービス再開6月1日から	
取組実績			県内図書館からの借受数の減少は新型コロナ対策によりサービスを休止していたことが原因と考えます。再開したことをご存じない方もまだ多いようですので、サービスの周知に努めてまいります。レファレンス受付件数は前年度比119%増となりました。利用者がお声がけしやすい雰囲気をスタッフが心掛けた結果と考えられます。				
3 利用者の要望に応じたサービスの充実							
		1 図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	引き続き図書館の自主事業に関連した資料の展示や様々なイベント等を実施し、利用者が本に親しめるサービスを図ります。	記述	9月までのイベントが中止となったため、工夫を凝らした資料の展示を実施しました。新規の展示である「夏の本のお楽しみ袋」はボランティア団体の選書による資料を3冊セットにしてプレゼントと共に貸出を行いました。内容の紹介も付けてくださったため手に取りやすかったです。また、写真の撮り方講座に関連した展示も実施しました。講座との関連展示をすることでより深い興味を持っていただけたようです。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍でいろんな制限がありますが、とどまらず何かできるものを模索し続けていってください。楽しみにしています。 全ての事業が前進できたことはすばらしいと思います。見つけやすさを考えた書架レイアウトは大切だと思います。 特設コーナーや講座と関連したコーナーを設けることは、来館者の関心をひき出す数に寄与すると思います。 ビジネス支援コーナーはコロナ禍の中適切な設置だと考えます。又、これから先の働き方改革の中必要なことと考えます。 ビジネス支援コーナーの設置は良かったと思うが、今後ともテーマの選定についてはニーズを踏まえ十分工夫を凝らして欲しい。 リサイクル本として多くの本が有効活用できたことはよいことです。 リサイクルフェアの継続を。期間を伸ばしたことも評価できます。
		2 所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	季節や時事の展示など、市民が関心を寄せる展示を行い所蔵資料の活用を努めます。今年度はビジネス支援コーナーを新たに設置し、活用のPRIに努めます。	記述	今年度ビジネス支援コーナーを新たに設置しました。背表紙にシールを貼りわかりやすくしています。今後は蔵書の充実を図り、チラシやパンフレットも置けるようにするなど、広く活用していただけるコーナーにしていきたいと思います。	
		3 リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	除籍資料を対象としたリサイクルフェアを継続して実施し、資料の有効活用を図ります。	記述	10月22日(木)～29日(木)に3館同時開催として雑誌のリサイクルを実施しました。昨年度は2日間だった開催期間を7日間に延ばし、提供雑誌数も7日間に分けました。3密を避け、換気や消毒、検温のご協力をいただきながらの開催でしたが特に混雑することもありませんでした。除籍冊数950冊のうち残数は3冊で、多くの市民に還元できました。7日開催したことにより、多くの市民にリサイクルを知っていただけたと思います。	
取組実績			新型コロナ感染防止対策のためサービスやイベントの休止があり、前年度のような事業ができなくなっている中で、今、図書館でできることとして新たな展示や書架のレイアウト変更等を実施いたしました。皆様にとって利用しやすい図書館になるように努めました。休止してしまっていたレファレンス室の開放につきましても、感染防止対策を取りながら11月25日から再開いたしました。雑誌のリサイクルは残数が3冊と、昨年度よりも多くの市民に資料を還元できました。(前年度残数:45冊) 書籍のリサイクルにつきましても感染対策をとりながら開催に向けて準備してまいります。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供					
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	児童向けのイベントの実施や、乳幼児・児童向け資料の収集に努めるとともに、今年度は教科書に掲載された資料のコーナーを新たに設置し、活用していただけるようPRに努めます。	記述	教科書に掲載された資料コーナーは、児童コーナーに入っすぐの場所に設置しました。小学校低学年向けの資料が多く貸出されていました。未所蔵の資料につきましても新規購入を検討いたします。今後もより多くの方に手に取っていただけるようにPRに努めます。	<ul style="list-style-type: none"> ・市民全体へのサービスがきめ細やかに行われている。 ・1のような取り組みは学校にとってもとてもありがたいことかと思ます。学校にも情報を流していただけるとより活性化するのではないのでしょうか。 ・子どもたちが学校でどんな本を読んでいるのかとても興味があります。 ・乳幼児・小学校低学年は、家族が共に読書する姿を見せていただきたい。 ・大活字本を読んでみたくあります。 ・何冊もの点字本を活用して、これらの資料に親しめるような機会を作ってくださいと良いと思います。 ・点字絵本は「点字」の存在を知らなかった子どもたちにとっても有意義な事と考えます。 ・休日の公園利用が増加しており駐車スペースが少なくなっている。図書館利用のスペース確保を拡大したり他の駐車場への案内板を出したりしてはどうか。 ・駐車場については国分寺図書館と比較すれば大きな課題とは言えないと思ます。専用の駐車スペースを5～10台程度確保できれば改善されるようには思いますが、難しいでしょうか。 ・どのような方に対しても必要なサポートを十分にできる体制を常日頃からとってほしいと思ます。 ・高齢者や障がいを持った方々が気軽に利用できるような環境(人的・物的)を望みます。 ・入口付近のフラワーボックスは破損もあり危険。撤去を。
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	市内各館と協力しながら大活字資料や朗読、落語等のCDの充実を図ってまいります。	記述	大活字本のコーナーをより目にしやすい場所に配置換えをしました。多くの市民に利用していただけていると思ます。朗読CDにつきましても引き続き充実を図ってまいります。	
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	市広報誌や議会だより等の音訳CDの貸出の促進、及び朗読CD・視聴覚障害者用DVDの充実を図るため、引き続き継続して購入します。	記述	広報しもつけの音声資料は目にしやすい視聴覚資料の新着コーナーに配架して周知を図りました。まだ利用は少ないのでより一層のPRに努めてまいります。点字絵本雑誌「テルミ」を10月から所蔵することになりました。障がいのある方も無い方も利用できる雑誌ですので、今後広くPRしてまいります。	
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	洋書の収集を図るとともに引き続き英語版のコミュニケーションボードの周知も行います。	記述	英語版のコミュニケーションボードをカウンターに常設しておりますが、現在のところはあまり利用が見られません。より目にしやすい案内に努めます。英語版の利用案内も用意しましたので併せて周知に努めたいと思ます。	
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	アンケートを実施して市民の要望を把握し、サービスの向上に努めます。	記述	7月25日(土)～8月9日(日)の12日間アンケート調査を実施しましたが、駐車場が狭いとのご意見を多くいただきました。隣接施設と共有の駐車場なので難しい問題ですが、公園内の別の駐車場のご案内をわかりやすくお伝えできるように館内整理日に各駐車場に赴きスタッフ全員で確認しました。(第1駐車場:116台、第2駐車場:145台、第3駐車場:206台駐車可能)	
		取組実績	障がい者サービスとしまして、児童向けの点字雑誌を新しく所蔵しました。触って楽しめる絵も付いており点字と共に文字も併記しています。多くの方に利用いただけるよう児童コーナーに配架しました。英語版の利用案内は、カウンターに常備するとともに玄関にも掲示をしました。まだ利用は見られませんが、誰もが利用しやすい図書館となるように配慮してまいります。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館								
1 地域情報の収集、保存、提供								
		1 地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	市の広報誌や議会だよりを収集し保存いたします。また利用者が活用できるように、わかりやすい掲示等で周知をいたします。	記述	市の広報や議会だよりを収集・保存しております。1階の下野市の資料コーナーや新聞閲覧コーナーにある小冊子置き場に配架して誰でも自由に閲覧できるようにしております。掲示についても所蔵場所等を大きく掲示しました。		・引き続き継続してください。音訳ボランティアによるCD化されている市の広報・議会だよりなどの提供をPRしてください。
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市の予算書や決算書などの行政資料の収集に努めます。また利用者が活用できるように、わかりやすい掲示等で周知をいたします。	記述	予算書や決算書はカウンターに常備し、利用者のご要望にすぐに応じられるようにしています。郷土資料のコーナー等にカウンターに常備している旨を掲示しました。		
取組実績			広報や議会だより、予算書、決算書の収集を行い、必要に応じて館内で閲覧ができるようにしております。下野市の郷土資料のコーナーと新聞閲覧コーナーの小冊子置き場に広報や予算書のご案内を掲示しました。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
		1 郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	下野学講座を継続して開催し、郷土について関心を深めるための学習の場を設けます。また、郷土資料の配架図を掲示してよりわかりやすく提供できるよう努めます。	記述	下野学歴史講座は、12月17日に児山城跡発掘調査について、市文化財課職員を講師にお迎えして開催しました。例年の半分の定員に減らしての募集でしたが、すぐに10名の定員に達し、当日の欠席もありませんでした。市民の皆様の郷土の歴史に対する関心の高さをうかがい知ることができる講座でした。今後も郷土の歴史の学習の場としての講座を継続して開催いたします。		・コロナへの配慮を考えながらの実施、お疲れさまでした。盛会でなによりです。 ・講座の開催はより地元を知る原動力になります。関連する講座の継続を願う。 ・歴史講座はとても良い企画。今後も継続してほしい。 ・定員が10名というのは少ないので、回を増やすなど参加したい人が参加できる工夫をしてほしい。 ・定員が10名だけなのは残念です。
			2 地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	引き続き基幹職員を通じて地域刊行資料の収集に努めます。また下野新聞に掲載された下野市の情報記事も引き続き掲示して情報発信いたします。	記述		
取組実績			郷土資料は受入れ冊数が前年度比109%と昨年より多くの資料を登録しました。県内及び市内各機関から寄贈いただいた資料も重要な情報として市民に提供できるよう努めました。					

石橋図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
V 市民とともにある図書館							
1 生涯学習の機会や交流の場の提供							
		1 図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	基幹職員と協力しボランティア交流会を開催いたします。	記述	新型コロナウイルス感染拡大防止対策として3密を避けるため交流会は見合わせるようになりましたが、各ボランティア団体の方には勉強会や打ち合わせの場所として図書館の施設をご利用いただいております。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティア団体の勉強会はボランティアの方々の質の向上になります。内容を検討しながら継続してください。 ・ボランティアさんとの交流を通し協力していただき、開かれた図書館を目指していただきたいと思います。 ・中学校の美術部とコラボするようなことも考えられるかもしれませんが、石橋高校もどうでしょうか？ ・人が足を運びやすい図書館作りを目指していらっしゃるが伝わりました。 ・原爆パネル展、とても良い企画だと思います。 ・一見唐突のように見えるが、非核平和都市宣言をしている下野市としては原爆パネル展はなかなか良い企画だったと思う。 ・原爆パネル展は平和について考える機会になります。年間行事として続けて展示してください。 ・作品展は多くの人の目に触れることが第一なので展示場所が変わってよかった。 ・児童生徒の作品は個性が光って楽しめました。
		2 レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	レファレンス室の資料の充実を図るため、幅広い分野の参考資料の収集と資料の更新を図り、新しい情報を提供いたします。	記述	参考資料(基準日12月末日) 受入冊数:29冊(前年度比94%) 参考資料等を見計らい選書をしました。資料の内容をしっかりと確認しながら選書することができました。今後も参考資料の更新を図ります。	
		3 開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	原爆展等の展示を行い市民の交流の場を提供いたします。また学校の生徒の作品展示も行い、管段図書館を利用されない方の来館を図ります。	記述	今年度も夏休みに市民団体のご協力のもと原爆パネル展をおこないました。1階ロビーに展示したパネルを多くの来館者が足を止めて熱心にご覧になっている様子が窺えました。平和について考える機会を提供している場所として、今後も協力してまいります。また、児童生徒の作品展示も10月から2月までの期間1階ロビーで開催しており、多くの方にご覧になっていただいています。	
		取組実績		前年度までは休憩コーナーで児童・生徒の作品展示をしていましたが、今年度は1階ロビーにパネルを設置して開催しました。入館してすぐの場所に設置したことで、多くの方がご覧になっていた様子が窺えました。ボランティア交流会は新型コロナウイルスの影響により開催を見合わせましたが、今後も基幹職員と協力しながら開催に向けて検討してまいります。			
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現							
		1 ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	各館で行われる養成講座や県で行われる講座をボランティアに周知いたします。また、ボランティア活動の取り組み結果等をホームページに掲載し周知を図ります。	記述	各館で行われる養成講座や県で行われる講座をボランティアにお知らせしております。また、ボランティアの活動記録のホームページへの掲載についても引き続き掲載してまいります。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの養成は質の向上のため必要です。参加しやすい方法で検討してください。 ・図書館ホームページを見てもボランティアの活動記録を見つけることができませんでした。わかりやすい掲載をお願いします。 ・企画と広報がうまくマッチした取り組みとなったと思われます。発信の重要性を感じます。 ・絵本専門士グループによる絵本の展示企画の継続を望みます。
		2 市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	市民団体と協力して図書館の自主事業の充実を図ります。	記述	県内で活躍している絵本専門士グループの選書による絵本の展示を開催しました。大人も子どもも楽しめる絵本の展示となり、下野新聞に掲載されました。今後も市民との協力による事業の充実を図ってまいります。	
		取組実績		絵本専門士グループによる企画展示は大変好評で、70冊ほどの選書冊数では足りなくなり、何回か追加の選書をしていただくほどの貸出がありました。多くの方に絵本の楽しさを知っていただける機会となりました。			
3 利用者への接遇の向上							
		1 職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	県立図書館等で開催される各種の研修に参加し、スタッフのスキルアップを目指します。	記述	県立図書館で行われるレファレンス研修会や著作権研修会等、様々な研修に参加しました。研修内容については回覧してスタッフ全員で情報の共有をしてスキルアップを図りました。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な時代、職員の質の向上には研修会などは必要。 ・業務マニュアルは大切ですが、人間相手なので臨機応変な温かい対応ができるようにしてください。 ・益々のスタッフのスキルアップを期待しています。
		取組実績		新型コロナウイルスの影響もあり研修の開催自体が前年度よりも減っておりますが、できるだけ参加できるように努めました。研修内容については、報告書とスタッフ会議等の場で発表をすることにより全員が情報の共有を図るようになっております。			

総 評 (石橋図書館)

【所見等】

- ・おおむね適正に運営されています。
- ・おおむね良好に管理運営を行っている。
- ・コロナ禍の中、又、県内緊急事態発令など予期せぬ状況の中、様々な工夫を試みながらの図書館運営に感謝します。
- ・今年度は年度当初から新型コロナウイルスの影響で三密を避けるため諸々の活動に制限が課せられたことから、計画した活動を行えなかったという面がある。しかしながらその間を利用し、室内環境の整備や工夫を凝らした資料の展示、書架のレイアウト変更などに努めたことは評価できる。
- ・人の流れを呼ぶ工夫がいろいろと講じられていることに感心しました。コロナの中でもできることを吟味したり、人が入らない時にしかできないことを行っていることもよくわかりました。今後も広報の工夫を行いながらよりよい図書館経営を進めていただければありがたいと思います。
- ・コロナ感染症対応の為、昨年度との数値比較はあまり意味がないかもしれないが、休館や開館短縮の中、市民によく活用されていると思う。
- ・コロナ感染防止対策で制限されることが多いと思いますが、皆様の知恵とバイタリティで乗り越えてください。
- ・様々な事業内容を考え、図書館が身近な存在であるようお願いしている様子がかがえました。
- ・市民の要望に応え、ますますの努力をしていただけたらと思います。
- ・文中に「誰もが利用しやすい図書館となるよう配慮していく」とありました。よろしくおねがいします。

- ・公園に隣接していて家族でたちよりやすく、市内3館の中で一番立地条件が良いと思います。書架の配置も利用しやすく、雑誌コーナーで余計な手続きをせずに自由に閲覧できるのが良いと思います。読み聞かせボランティアの方のスキルも高いので中・高生へのブックトークなども実施していただければありがたいです。
- ・カウンター前の特集コーナーが良かったです。タイムリーでいつも手に取らない内容もあって刺激を受けます。
- ・館内は整理整頓されています。スタッフの明るい対応は誰でも好感を持つでしょう。
- ・入ってすぐのYAコーナーは明るく見やすく良いコーナーと思います。
- ・雑誌のスポンサー1社を発掘した努力を評価したい。これが呼び水となるようにスポンサーとなった業者への何らかのメリット付与について今後検討して欲しい。
- ・非核平和都市宣言をしている下野市として、原爆パネル展示は有意義で良い企画だったと思う。
- ・駐車可能台数などの確認作業ご苦労様でした。

- ・国際交流コラムの冊子化はどうなっていますか。ドイツ地方の習慣など貴重な資料になると考えます。再考を願います。
- ・もっとグリム関係の資料を前面に出し、特色をアピールしたら良いのではと思います。
- ・絵本専門士グループによる選書、企画、展示が好評とのこと。各図書館にも1人ずつ配置されるよう希望します。
- ・駐車場の問題をいま一度考えていただきたい。

【Ⅲ-1のコメント】

- ・季節毎の壁面は心が和みます。働きかけは必要ですね。
- ・東側から西への人の流れが予想されて途中の本棚に動きができました。
- ・明るい雰囲気作りは人が足を運ぶための第一条件だと思います。飾りについては今後も続けられるよう願います。
- ・雑誌のオーナーの賛同おめでとうございます。本や雑誌を購入している業者への呼びかけも継続してください。
- ・1社がオーナーになっていただけたとのこと、職員の皆様の努力に感謝致します。
- ・おめでとうございます。スポンサーの業績が伸びるといいですね。

令和2年度事業評価シート(様式1)

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							外部評価 (図書館協議会のコメント)
I 知識と情報の拠点としての図書館							
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実							
		1 資料の収集と保存	ア)市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります	国分寺図書館の特色である医療関連資料の重点収集に努めます。また、YA(中高生世代)向け資料の拡充も図ります。	記述	医療関連資料(基準日12月末日) 115冊(前年度比115%) YA資料(基準日12月末日) YA向け雑誌(基準日12月末日) 110冊(前年度比98%) 2誌(前年度0誌) 医療関連資料は各種疾病をはじめ、看護等の現場で役立つもの・薬品・漢方・医療費など幅広い分野から収集し、様々な年代や立場の利用者に提供できるように努めました。YA資料を新たな特色にするべく前年度に引き続き、様々な分野からの収集を強化しました。また、YA世代を中心に読まれている雑誌を新規で2誌購読開始しました。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルスについての企画・展示は良かった。 ・医療関係資料を重点収集しているから利用しやすさについても力を入れてください。できれば病名や症状などで分類し、医学に詳しくない者でも探したい本にたどり着きやすくして頂きたいと思います。 ・医療関係資料の所蔵を充実することは結構なことだと思うが、その利用者があまり多くないなど死蔵されてしまうのではもったいない。せっかくの資料をできるだけ広く利用されるよう工夫をすることも必要ではないか。 ・若い世代を図書館に呼び入れるのにYAの収集はとても有効と思う。 ・ティーンズ読書クラブの成長を期待する。 ・各図書館で特色のある資料の収集をしていることはとても良いことである。この件をもっと市民に周知させることを望みます。 ・最近の本はカバーなどもかなり工夫していて手にとってみたくなっています。新しい本と入れ替えることもよいと思います。 ・参考資料はできる限り新刊が良い。 ・利用者のニーズの先読みや情報誌内容の鮮度に注目しての選書を心がけられ実施されているのは、すばらしいことと思います。その結果も出ているのは喜ばしいことです。 ・2は良い取り組み姿勢です。 ・多方面からの書評は確かな蔵書構成の参考となる。 ・YA世代の雑誌の購入は、中・高生の利用促進につながるかと考える。 ・高齢者向け資料の拡充を図っていくことへの着眼点は評価できます。
			イ)参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	様々なレファレンスに対応できるよう参考図書や実用書の積極的な収集を継続し、幅広い資料収集に努めます。	記述	参考資料(基準日12月末日) 27冊(前年度比450%) 参考図書や実用書は情報の鮮度にも留意し、内容を見直しながらい替えも含めて随時購入を進めています。市民の知の財産として残していく資料に関しては、複数人で十分に検討して保存にあたっています。	
		2 市民ニーズを把握した図書の収集	市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	アンケートの結果や予約・リクエスト・日々のレファレンス等を考慮し、各種メディアでの書評やランキングなども意識した選書に努めます。	記述	スタッフ全員が書評・書店・インターネット・選書参考資料等の様々なメディア、予約・リクエスト、アンケート、利用者や職場体験の子どもたちとのやりとりから幅広く情報を収集してニーズの把握に努めました。	
		取組実績		<p>学習席の学生利用の多さや、「ティーンズ読書クラブ」が所属していることから国分寺図書館の新たな特色としてYA資料の充実と若い世代の利用促進を目標に掲げ、前年度から少しずつ準備を進めてまいりました。購読していた一般向け雑誌が相次いで休刊したこともあり、購読誌を見直し新たにYA向けの雑誌の購読を始めたところ、10代の新規利用者獲得や貸出に繋がりました。11月末の学習席利用の再開を機に学生の来館が増え、貸出数も伸びました。</p> <p>利用者の関心が高い受賞作やメディア化等々の話題作は、司書の経験を活かしてある程度世間の話題を先読みして収集しておくことで、タイミングとニーズに合った提供ができました。</p> <p>今後も利用者のニーズを意識しつつ、医療関係資料とYA資料の充実を図りながらも、内容の質も吟味して全体的にバランスの良い資料収集に努めます。</p>			
3 サービスの提供の向上							
		1 インターネットによる調べ物の支援	利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	図書資料とあわせて、利用者用パソコンの利用も案内し、多角的な情報収集の支援に努めます。	記述	速報性の高いレファレンスを受けた際など、図書・新聞・雑誌と併せて情報ツールの一つとしてインターネットパソコンの利用を案内し、多角的に情報収集できるよう努めました。インターネットでは手軽に複数の情報源を辿ることができ素早く情報収集ができる反面、信頼性が低いものもあるため、状況に応じて司書も一緒に調査支援するようにしています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者用PCの使用ができるのにいまだにOPACが使用できないのはなぜでしょうか。大変不便なのでカウンターでのOPACだけでも早期の利用再開をお願いします。 ・コロナ禍での取り組みが新たな市民と図書館との関係性をつくることになってきているようでよかったです。特に高齢者の利便性に大きな良い変化をもたらしてくれることを期待したいと思います。 ・PR活動がとても大切かと思う。 ・インターネットによる調べ目の支援の一つとして、スマホ等を一緒に操作しながらとありました。できたら高齢者向けのプチ教室を開催していただけたらと思います。 ・ネット検索のみに頼らず本による調べ目も大切だと思います。 ・インターネットは手軽で情報も多く得られますが、確かな情報は書籍での確認の習慣を指導してください。
		2 より容易で効率的な資料・情報の提供	デジタル図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	引き続き下野新聞データベースの活用促進に努めます。また、新着案内など各種情報をTwitterでリアルタイムに発信し、図書館サービスを広くPRします。	記述	ポスターやレファレンスでデータベースの案内をして周知を図っていますが、9月半ばのパソコンサービス再開から間もないこともあってか利用に至っていません。周知方法の見直しも含め、データベースの良さをPRしてまいります。Twitterでは毎週の新着案内だけでなく、イベントの告知・申し込み状況・報告、展示の様子等を随時発信しました。	
		取組実績		<p>インターネットによる予約件数(3館合計)が前年度7,355件から今年度9,583件と大きく伸び、コロナ禍でのインターネットによる図書館の活用が目に見える形となりました。インターネットに不慣れな高齢者等にも利便性を知っていただき活用していたできるよう、状況に応じて利用者用パソコンや本人のスマートフォンと一緒に操作しながら図書館ホームページの使い方をわかりやすく案内するようにしています。同様にパソコンを使った調べ目も共に操作することで、情報リテラシーに触れてこなかった層を支援してまいります。</p> <p>Twitterでの情報発信を積極的に続けた結果、フォロワーが76人(前年度比123%/基準日12月末日)増加しました。今後も広く様々な方に国分寺図書館に親しみをもってもらえるよう努めます。</p>			

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期の計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							外部評価 (図書館協議会のコメント)
II 子どもの読書活動を推進する図書館							
1 学校との連携による子ども読書活動の充実							
		1 学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	学校からの希望資料の提供や、団体貸出の配送による毎月の訪問の他、学校からの要望を検討するなどさらなる連携を目指します。	記述	今年度は新型コロナの影響もあり学校と相談して4月の訪問は控え、5月から国分寺小・国分寺東小への訪問を再開しました。電話・FAX・来館での相談も随時お受けしており、2校から要望のあった図書は551冊(前年度比152%)の貸出がありました。※基準日12月末日 定期訪問実績 国分寺小7回(全9回予定) 国分寺東小8回(全10回予定)	・中学校とのパイプができたことはとても良いことと思います。中学生の読書離れに歯止めをかける一助になることを期待しています。小学校では物語教材の関連図書に触れさせたいとの考えがあります。小学校とのより深い連携をお願いします。 ・図書館と学校との情報交換は業務を実施するうえで重要です。お互いがスムーズに気持ち良く働けるように日頃からの努力を要望します。 ・配送業務は負担の多いことと思います。保護者の方々の協力が得られることを要望します。 ・コロナ禍で家にいる時間が長くなっている中、学校と連携して読書の推進を図ることは大切かと思う。 ・これからも貸出、講座などを通し、学校との連携を強く望みます。子どもたちの読書への興味に繋がってほしい。 ・2-イ)はボランティアの活動が力になっていますね。
		2 小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出により、身近に本のある環境を作ります	季節や学習内容を取り入れた学年別おすすめ図書(50冊程度)の団体貸出を行い、児童の読書環境の充実をサポートします。	記述	II-1-1の要望図書とは別に、国分寺小(3学年+特別支援学級分170冊)と国分寺東小(3学年分150冊)に団体貸出として毎月配送しています。前年度後期から貸出上限を40冊から50冊に上げたことで、学校での読書環境の充実につながりました。	
			イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	ボランティアによる定期的な読み聞かせを継続します。	記述	「おはなしポケットの会」、「むくの木」の皆さまに協力していただき、9月から小学校での読み聞かせを再開しております。	
取組実績			4月の訪問・配送がなかった分、8月に訪問の機会を設けて前年度と同じ訪問・配送回数を確保しました。8月に配送回数を追加したことで、夏休み短縮で8月に登校していた子どもたちの読書環境を支援することができました。9月から国分寺中学校との連携が新たにスタートし、484冊の貸出がありました。いまだコロナ禍ではありますが読み聞かせボランティアの皆さまにご協力いただき、小学校での読書活動を支援していただきました。				
2 家庭での読書活動の支援							
		1 親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	お話し会の他、季節の行事に関連した図書を展示・提供するなど、家庭での読書に繋がるよう努めています。	記述	9月いっぱいまでお話し会や工作会などの各種イベントは中止となってしまいましたが、季節の行事に関連した資料の展示は通常通り実施し、家庭での読書が途切れないように努めました。玄関ロビーに展示した七夕の飾り付けや、10月から再開したお話し会も好評でした。	・コロナの影響が大きいです。 ・配架の工夫は他の図書館でもありましたが、利用者にとって図書館の使いやすさと再利用を考える大きなファクターになると思います。今後もそれぞれの図書館の館内の状況に応じた利用者目線の配架をお願いします。また、できることを考えたイベントなどの実施にも感謝いたします。 ・配架の工夫で利便性があがったのはすばらしい。大変な作業であったと思うが、こういうことはやってみないと分からないので、ぜひ他の場でもトライしてほしい。 ・昔話の配架を著者順から主題のタイトル順に改めたのはひとつのアイデアだったと思います。また、ちしきの本のコーナーとして「詩・言葉」「伝記」「その他のちしき」に細かく分類したことも工夫として良かった。 ・保護者を対象にした講演会の実施は重要。まず親から読書の楽しさを知ってほしい。 ・親(保護者)が読書する家庭では子どもも本を読むといわれています。家庭・学校での読書活動への情報の提供を望みます。 ・図書館だよりやイベントの知らせは各施設に定期的に配布してほしい。
		2 子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	引き続き「親子で読み聞かせ講座」を実施し、家庭での読書活動の推進を図ります。	記述	今年度は3月開催予定ですが、今後の開催時期の検討も含めて準備を進めております。	
		3 図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通した図書館情報の周知を図ります	国分寺地区の保育園や児童施設に、図書館だよりやイベントのお知らせを配布することで情報の周知を図ります。	記述	以前からの課題であった保育園への配布体制を整えました。徐々にイベントを再開しつつありますので、12月より公共施設や児童施設とあわせて保育園等へ配布しております。メディアへの情報提供も継続してまいります。	
取組実績			季節の行事に関連した図書は子どもたちの興味も大きく、貸出も好調でした。昔話の配架を著者順から主題のタイトル順に改めたところ、同じ物語が集まっているため「読み比べがしやすくなった」「探しやすくなった」と好意的なご意見をいただきました。以前は科学絵本などが絵本として一括りになっていたものが、「詩・言葉」「伝記」「その他のちしき」と大まかに分けて、ちしきの本コーナーを新設しました。子どもだけでなく保護者の反応も非常に良く、コーナーの本をまとめて借りる方も多く見受けられます。				
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実							
		1 児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	引き続き課題図書等の優良図書を積極的に収集するとともに、子どもたちのニーズも取り入れながら幅広い資料の充実を図ります。またYA(中高生世代)向け資料の拡充も図ります。	記述	課題図書や厚労省推薦図書等の各種優良図書、教科書関連図書の積極的収集を行いました。教科書関連図書は学校貸出の図書にも取り入れております。 I-1-1・2と同様に情報収集してニーズを把握しつつ、科学絵本や読み物など幅広く収集しました。	・多方面にわたる資料の提供は児童の読書意欲の向上になります。 ・子どもたちが図書館に興味をもてば自然と保護者も足を運ぶことになり、多くの方が図書館を活用して下さることとなります。今後も積極的に見学や学習の機会をつくらせていただけるようにお願いします。 ・図書館探検や職場体験を通して図書館を身近に感じてくれたことは、大きな成果があったと思う。 ・学校を通しての本との出会いはとても大事なことで、来年以降もさらに良い関係を築いてください。 ・教科書掲載学年のラベルを貼るなど、ちょっとした工夫で利用者は探しやすくなるのでありがたい。 ・教科書関連図書の本の背に掲載学年が分かるラベルを貼ったのは良い工夫だと思います。 ・厳しい市財政であるとは考えますが、図書購入費の増額を切に望みます。
		2 小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めていきます	図書館探検の実施を継続し、子どもの図書館への関心を深めます。	記述	子ども司書講座は中止になりましたが、独自イベントである図書館探検(定員5名)の実施と施設見学(国分寺小2学年3クラス)・職場体験(小山桑中2学年3名)の受け入れをしました。1月にはジュニアリーダーズクラブの学生(中高生4名)の受入と、桑中(1学年4名)の職場見学を予定しております。	
			イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	引き続き「おすすめ図書ガイド」の配布と小中学校へのおすすめ本・新着本リストを定期発行し、読書案内の充実を図ります。	記述	今年度は高学年向け図書ガイドを作成中です。おすすめ本・新着本リストは「本のおたより」として年4回配布しております。	
		児童書の貸出冊数、市内3小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 令和2年度 児童書…142,283冊 → 150,000冊 団体… 23,790冊 → 30,000冊	各館 令和元年度 → 令和2年度 児童書…60,123冊 → 61,000冊 団体… 3,324冊 → 3,300冊	数値	児童書貸出(基準日12月末日) 42,051冊(前年度比94%) 市内小学校への団体貸出(基準日12月末日) 3,112冊(前年度比127%)	
取組実績			図書館探検や施設見学・職場体験を通して図書館を身近に感じてくれたようで、体験以降多くの子どもたちが来館するようになりました。子どもからスタッフへの声掛けも増えたように感じます。前年度から継続して購入を進めている教科書関連図書は本の背に掲載学年がわかるラベルを貼ることで、子ども自身が見つけやすく保護者も選書の参考にしやすい環境を整えました。				

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	
							単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
Ⅲ 利用しやすい役立つ図書館								
1 柔軟な運営体制の構築								
		1 図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	図書館の外部評価を基に基幹職員と協議をし、改善いたします。	記述	以前からの課題であったトイレ洋式化とトイレ壁面のタイルの補修は11月の工事で完了しました。工事後は1階女子トイレ2/3、1階男子トイレ1/2、1階多目的トイレ1/1、2階女子トイレ3/3、2階男子トイレ1/2が洋式の個室になります。ご意見のあったドアの開閉についてはクッションテープを貼り音の軽減を図りました。	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレの改修工事ができたこと、休館中に配架場所を手作りなされたこと、明るく清潔な環境はそれだけで人を呼びます。今後とも改善を心がけていただけるとありがたいです。 ・トイレの洋式化は現代社会では必須なのでよかったです。 ・トイレの修繕は良かったですね。 ・以前からの課題であったトイレの改良に一步前進の努力をされたことについて評価します。 ・市民の方などのご意見を取り入れていただき、環境面で改善されたことに感謝申し上げます(特にトイレ)。 ・スポンサーは資料購入の書店などに依頼することはできませんか？ ・FMゆうがおを大いに利用しましょう。 	
		2 民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	引き続き、市内企業の紹介展示の実施を目指してまいります。また、雑誌スポンサー制度の周知に努めます。	記述	玄関ロビー等館内に雑誌スポンサー募集のポスターを掲示しておりますが、申し込みはまだありません。雑誌スポンサー制度をはじめとした企業との連携に関して、FMゆうがお等様々な媒体でPRし引き続き周知に努めます。		
		取組実績		トイレに関しては全部で11室の個室の内、新たに3室が洋式化しました。個室には和式と洋式の違いを分かりやすくするため、ドアにイラストで表示をつけました。1階の奥まった暗い場所に配架されていた大型絵本を階段下のスペースに移動しました。本棚は臨時休館中にスペースに合わせて手作りしたのですが、明るく見やすく取り出しやすくなったので大型絵本の利用が多いボランティアの皆さんからも好評です。レイアウトの変更やロビーでの展示方法を工夫するなど少しでも窮屈さを感じずに新鮮な気持ちで利用していただけるよう、狭い1階部分の活用を常に模索しております。引き続き基幹職員や地元企業との連携を図り、多くの方が利用しやすいサービスを提供してまいります。				
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実								
		1 レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	行政や各種機関と連携し、市内に関する資料を積極的に収集し、提供いたします。 レファレンスの事例を記録し、レファレンスに対応できる蔵書の充実を図ります。	記述 記述	行政機関と連携して市内施設のリーフレットや事業のポスター・チラシを収集し、提供しました。文書担当スタッフが内容を精査し、レファレンスに活用できるものがあれば参考資料として提供できるようにいたしました。 レファレンス内容を記録し、スタッフ間での情報共有を行っております。日々のレファレンスを資料の選定にも反映し、蔵書のさらなる充実に努めました。	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なニーズに応えることは司書への信頼につながります。より多くのレファレンスのツールを作成してください。 ・スタッフ間での情報共有はとても重要なこと。 ・休館や時短があり、レファレンス数が少なくなったのは仕方ない。 ・相互貸借はありがたい。 	
		2 レファレンス受付件数	全館 平成26年度 → 令和2年度 5,929件 → 6,600件	各館 令和元年度 → 令和2年度 3,093件 → 3,100件	数値	レファレンス受付件数(基準日12月末日) 1,767件(前年度比71%) ※レファレンスサービス再開8月1日から		
		3 相互貸借	県内図書館との相互貸借により、リクエストに応えます	リクエストに応えられるよう、県内図書館の相互貸借を活用し、資料の提供を行います。	数値	相互貸借借受数(基準日12月末日) 333件(前年度比62%) ※相互貸借サービス再開6月1日から		
		取組実績		相互貸借借受数の減少は、前年度同様に自館の資料で需要が満たされていることに加え、新型コロナ対策によるサービス休止が主な理由と考えられます。継続してニーズの情報収集・資料の提供にあたり、レファレンスサービスのさらなる充実に努めます。				
3 利用者の要望に応じたサービスの充実								
		1 図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	季節の行事や各種イベントの関連資料を展示するなど、気軽に利用できる環境の充実を図ります。	記述	古典文学講座開催に合わせてロビーで行った万葉集に関する資料展示では、目立つ場所であったため興味を示される方も多く、通常配架していた時よりも貸出が増えました。講師からも「良書が揃っている」とお褒めの言葉をいただきました。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座に関連のある資料は参加者にとっても魅力的です。利用促進に効果があると考えます。 ・入口ロビーの活用は目につきやすく展示効果あり。 ・特集の組み方が良いと思います。 ・書店でもそうですが、特設コーナーは多くの人が関心を寄せます。そのPRも上手にできるとよいと思います。 ・常時、様々なテーマや作家のコーナーが作られていて興味を持って見えています。 ・スタッフ全員が企画展示を担当したり図書館が協議したりとマンパワーの活用を心がけられていることはすばらしいと思います。コロナ禍を前向きにとらえた仕事の進め方として評価できるものと思います。 ・サービス充実を図るため様々な工夫をなされていることが分かります。 ・リサイクル市の継続を望みます。 ・リサイクル市は有効活用でよいことと考えます。児童館などへの提供も読書促進につながるのでは…。 	
		2 所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	季節や時事など利用者の興味関心を引くテーマを盛り込んだ展示を行うことで、閉架書庫を含む所蔵資料の幅広い活用を図ります。	記述	季節ごとの展示や追悼など時事に関連した展示は幅広い年代が関心を持つため、多くの貸出に繋がっています。展示資料には閉架資料や普段利用の薄い資料を積極的に選書し、たくさんの方の目に留まるよう努めています。		
		3 リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	リサイクル市を実施し、除籍した書籍や雑誌の有効活用を図ります。	記述	10月22日(木)～29日(木)に3館同時開催の雑誌のリサイクルを実施しました。例年は視聴覚室での開催ですが、今年度はサービス停止中の2階学習室を活用することで広い空間でゆったりと雑誌を選ぶことができたように思います。検温・消毒や人数制限等様々な制約の中の開催でしたが、提供雑誌約730冊すべて還元できました。1月に書籍のリサイクルを予定しています。		
		取組実績		新型コロナ対策によるサービスの制限やイベント中止で例年通りの運営が難しい中、基幹職員や他館とも協議しながらできることを模索し図書館サービスの充実を図りました。普話コーナーの一新やしきの本コーナー新設、料理に関する書架の整備など、コーナーや配架の見直し・レイアウト変更などを行い利用しやすい環境整備を進めています。スタッフ全員が企画展示を担当し様々な切り口で展開される特設コーナーは好評ですので、今後も継続してまいります。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	
							単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供						
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	児童向けのイベントや幅広い資料の充実を図ります。引き続き児童室を整備し、子どもが利用しやすいコーナー作りに努めます。	記述	常設されていたコーナーをすべて見直し資料の入替とラベルなどの装備、レイアウトを改めました。「ちしきの本」「ベストセラー(長く読み継がれている絵本等)」は新たにコーナーとして設置しました。本が選びやすくなり貸出にも大きく繋がっております。「ガチャまるチャレンジ」もすっかり定着し、保護者のカードで借りていた子どもたちの多くが自分のカードを作り、楽しみながら本を借りてくれるようになりました。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中、閉館中にてできる作業を行いコーナーの見直しなど利用者が借りやすく整えるのは開館時には難しいことだと考えます。使いやすいレイアウト、楽しみです。 ・家族連れで来館されていました。それぞれが楽しめる図書館なんですね。 ・どんな内容の絵本を子どもたちに与えたらよいか分からないママさんたちがいます。「おすすめ図書ガイド」パンフを児童館・子育て支援センターなどにも置いていただけたらと思います。 ・大活字本は高齢者だけでなく少し目の不自由な人にとっても便利です。3館での所蔵についてもPRしてください。 ・発達が気になる子どもたちが親子で気軽に利用できる図書館を望みます。 ・障がい者サービスの広報については、施設設備の環境についても重要かと思えます。ユニバーサルデザインや職員のサービスも合わせて広報されると良いのではと考えます。すでになされている場合はお許しください。それぞれの市民の状況に応じた取り組みをされていることがよくわかります。ありがとうございます。 ・利用者が必要なときに、すぐにサービスを提供できることが大切。いろいろな方の利用を想定してサービスの充実を図ってほしい。 ・引き続き2階へのアプローチのためエレベーターの設置をお願いします。 	
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	大活字本や健康関連本等の充実を図り、広く活用していただけるよう周知に努めます。	記述	継続して大活字本・健康関連本の収集をしています。「大活字本」自体の知名度を上げ、多くの方に活用していただけるようミニ展示の準備を進めています。		
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	点字資料や朗読CD等を積極的に受け入れ、資料の周知を図ります。	記述	広報しもつつけの音声CDはまだ利用が少ないため、多くの方に知っていただき活用していただけるようミニ展示をした後、新たな配架場所を検討しています。カウンター周辺に独自のコミュニケーションボード(話し言葉によるコミュニケーションが困難な方向けのツール)を設置しました。点字資料や朗読CDにつきましても、引き続き充実を図ってまいります。		
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	日本語学習資料や洋書の収集を積極的に行い、充実を図ります。	記述	Ⅲ-4-3のコミュニケーションボードと共に独自の英語版コミュニケーションボードを設置しました。英語版の利用案内の新規作成に向けて準備を進めています。洋書や日本語学習資料の蔵書・利用が少ないため、購入を進め利用促進を図ります。		
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	アンケート調査の結果から市民の要望を把握し、市民に寄り添ったサービスの向上に努めます。	記述	7月25日(土)～8月9日(日)の期間実施した利用者アンケートの回収率は100%でした。施設面では2階との行き来について、サービス面では図書・視聴覚共に蔵書数を増やして欲しい旨の要望が多くみられました。どちらもなかなか難しい問題ではありますが、少しでも利用しやすくなるよう工夫してまいります。		
取組実績		限られた空間・限られた予算の中で最適なサービスが提供できるよう、各種サービスの見直しを図っています。障がい者サービス・外国人へのサービスの利用はほぼない状態ではありますが、誰もが利用しやすいように整備を続けてまいります。チラシや掲示物も対象者が見やすい紙面作りを心掛けており、文字の大きさや配置・色味の調整に加えてオリジナルのイラストを使ったりと工夫をしています。						

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価 単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
IV	郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館							
1 地域情報の収集、保存、提供								
	1	地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	地域資料の収集・保存・提供を行うとともに、資料を有効活用していただけるよう、コーナーの展開についても検討します。	記述	広報や議会だよりの収集・保存を行っております。東京都小金井市のフリーペーパーを制作・発行している「こがね編集室」より、栃木県下野市の「小金井」特集ページを組みたいという依頼があり、資料提供での協力をしました。完成したフリーペーパーを頂き、館内で閲覧できるようにしております。今後も積極的に地域情報を収集し、多岐にわたる資料の提供をまいります。		・せっかく当市小金井が載っているフリーペーパーが置いてあるのに、POPや説明書きが何もなく、わざわざ分けていただいたのにもったいないと思いました。 ・県内や趣味などのフリーペーパーを集めたコーナーや掲示に取り組むのも特色としておもしろいかも知れません。 ・“何気ない”チラシの中にも貴重な情報を見つけることがあります。数多くの地域の情報収集は必要です。 ・広報誌や議会だよりは鮮度が命のものと思います。迅速に対応することを心がけているとのこと、すばらしいことと思います。 ・収集、保存、提供という仕事の流れに皆様の努力を感じました。 ・一般市民の利用は年間どのくらいあるのでしょうか？
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市議会の議事録や市の予算書・決算書などの行政資料を収集し、保存します。また、資料を有効活用していただけるよう、コーナーの展開についても検討します。	記述	市の予算書・決算書など行政資料を継続的に収集・保存しております。収集後は書誌・所蔵のデータを登録し、下野市のコーナーに配架しております。コーナー近くに関覧スペースを設けることで、より利用しやすい環境を整備しております。		
取組実績			広報や議会だよりの等、資料収集後は迅速な所蔵登録・提供に努めました。必要に応じて館内で閲覧ができるようにしております。周知もあわせて積極的に行っております。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
	1	郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	引き続き積極的に郷土資料を幅広く収集し、一般書・児童書それぞれの郷土資料コーナーの充実に努めます。	記述	積極的に資料の収集を行っております。また、以前からの課題であった一般開架の分散した郷土資料コーナーは書架1面にまとめました。館内開架用資料と貸出可能資料に分け、直観的に見やすい棚構成にしました。		・様々な取り組みに努力していることは評価します。今後も継続してください。 ・ポスターやポップなどがあればより目立つようにも思います。薬師寺歴史館やしもつけ風土記の丘資料館と連携してみるのはいかがでしょうか。すでに実施していることならお許しください。 ・国分寺図書館の特色ある資料収集につながる取り組みが進められていると感じました。 ・市民の方のご意見を聞き、様々なことに取り組み、努力なされていると思う。 ・がんや感染症に関しては知識を欲する人も多いと思うので、さらなる充実をお願いしたい。 ・自治医大コーナーと一般書の医学の棚との間に相互に何か関係するような表示があると良いと思いました。 ・2は誰もが興味を持つ内容ですね。
	2	地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	地域ゆかりの自治医大コーナーと郷土資料コーナーの連携を視野に入れ、さらなる充実を図ります。	記述	国立がん研究センターが発行しているがんに関する冊子とちらしを収集し、「がん情報ギフト」として自治医大コーナーに展示いたしました。12月に開催した自治医大予防医学講座「生活習慣病」「感染症」で招く講師から参考になる資料や著書を伺い収集し、コーナーの充実に努めました。		
取組実績			郷土資料コーナーをひとつにまとめたことで「見やすくなった」と好意的なご意見をいくつかいただきました。がん情報ギフトコーナーの資料を手にとっている方も何人かいらっしゃいました。今後も特色を生かし、市民の関心のある資料を提供してまいります。					

国分寺図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価 外部評価 (図書館協議会のコメント)
V 市民とともにある図書館							
1 生涯学習の機会や交流の場の提供							
		1 図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	基幹職員と協力してボランティア交流会や研修を行い、市内のボランティアと図書館の情報交換の場を提供いたします。また、ボランティア活動の取り組みをホームページやTwitterで情報発信し、周知を図ります。	記述	新型コロナ対策としてボランティア交流会の開催は見合わせることにになりました。ボランティア団体の勉強会や打ち合わせの場所として随時提供しています。10月に再開したおはなし会の様子をTwitterで発信したところ、「いいね」がついたりといくつか反応がありました。	<ul style="list-style-type: none"> ・児童向けの図鑑を貸出可能にしたことはひとつの考え方だと思った。 ・図鑑の好きな子どもが増えているので喜ばれましたね。 ・図鑑の貸出可能good! ・レファレンス資料の冊子は良いことです。読書意欲が高まります。 ・それぞれの項目での前向きな取り組み、すばらしいと思います。「ティーンズ読書クラブ」や「司書体験」など子どもたちが関わる内容についての広報は、学校に届いて直接子どもたちに知らせる方法や生徒会の協力を得ることも考えられるように思います(昼の放送の時間は十分に活用できる時間となると思います)。新着本の紹介などもできるかもしれません。 ・ティーンズ読書クラブの位置付けがわかりにくいので広報をしっかりとよい(HPIにも載っていない)。 ・ティーンズ読書クラブの今後の活躍が期待されます。 ・ティーンズ読書クラブの活動は素晴らしい。もっと周知させるべきでは? ・ティーンズ読書クラブの益々の発展を。 ・ティーンズ読書クラブのメンバーも読書クラブなどに発展することを願います。
		2 レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	国分寺図書館の特色である医療関係資料など、幅広い分野からレファレンスに役立つ資料の充実を図ります。	記述	館内閲覧専用となっているレファレンス資料の見直しをしました。児童向けの図鑑などは館内閲覧専用にするよりも家庭で見ることが有効活用が見込めることから貸出可能に改めたところ、多くの貸出がありました。 ※Ⅰ-1-1-A)・イ、Ⅳ-2-2)に関連	
		3 開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	読書会等、市民団体の交流の場を提供いたします。また、児童・生徒の作品展示など発表の場としても活用していただけるよう努めます。	記述	「ティーンズ読書クラブ」は新たなメンバーが1名加入し、小学3~6年生の9名で活動しております。おすすめ本の発表をメインに活動していましたが、今後は新たにポップ作りや館内の飾り作り、新たなメンバー獲得へ向けての広報活動を予定しています。「しもつけブックベリ」 「古文書を学ぶ会」 「読書会」と複数の市民団体が活動しております。	
取組実績		「ティーンズ読書クラブ」の子どもたちの意識が大きく変化し、メンバーを増やして図書館に貢献してみたいという意見から活動内容が大幅に増えました。図書館としても子どもたちの活動を精一杯バックアップしてまいります。各種団体の活動のサポートや積極的な情報発信で、学習・交流の場としてのさらなる利用に努めてまいります。					
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現							
		1 ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	引き続きボランティア養成講座を実施いたします。ボランティアの新規獲得を目指し、情報発信に努めます。	記述	2月に紙芝居についてのボランティア養成講座を実施予定です。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの資質向上の研修は継続してください。 ・すばらしい取り組みだと思います。市民との協働の実現ですね。 ・情報の発信は市民と図書館をつなぐ大きな手立てです。ツイッターを多く利用しているようですがツイッターを使わない人々への伝達方法もお願いします。 ・情報発信はとても重要なこと。会を運営するにあたり不可欠なものである。 ・ガチャまるチャレンジ企画はとても良い。これから子どもたちがわくわくする企画を望みます。 ・南河内図書館のように図書館ボランティアについての展示もある良いと思います。
		2 市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	図書館サポーターやボランティアと連携して事業の充実を図ります。	記述	図書館サポーターは新たに2名が加わり、現在は主に5名の方が活動しています。新たなメンバーには10代の学生もおり、様々な年代・立場の方が図書館をサポートしてくださっています。メンバーそれぞれのスキルを活かして活動できるよう図書館としてもバックアップしてまいります。	
取組実績		ガチャまるチャレンジについてTwitterで何度か紹介したところ、複数の利用者から「ガチャまるの景品にどうぞ」と様々な小物をいただくようになりました。市民の皆さんが児童の読書活動に協力してくださり、あたたかく非常に良い環境であると実感しています。読み聞かせやサポーター等のボランティア活動、図書館活動について情報発信をし続けた効果が実を結んだように思います。今後も積極的に情報を発信し、市民とともにある図書館作りに励みます。					
3 利用者への接遇の向上							
		1 職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	県内外で行われる各種研修に積極的に参加し、スタッフ一人一人の質の向上を図ります。	記述	県立図書館が主催する図書館サービスや著作権、レファレンスの研修会等に参加しました。全員が出勤する館内整理日を有効に使い、接遇や館内環境について意見を出し合うミーティングの時間を設けています。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の多様なニーズに応えることは図書館の信頼になります。ぜひ続けてください。 ・時間を有効活用した取り組みだと思います。 ・情報の共有はとてもよいことです。 ・研修を通しスタッフの質の向上を図ることはとても重要。3館合同の研修はあるのですか?
取組実績		今年度は多くの研修が開催を見合わせる事となりましたが、開催するものにはできる限りスタッフが参加できるように調整し、個々のスキルアップに努めました。研修後は報告書を回覧し、受講スタッフが発表する時間を館内整理日に設け、全員で情報共有ができるようになりました。					

総 評 (国分寺図書館)

【所見等】

- ・おおむね適正に運営されている。
- ・おおむね良好に管理運営を行っている。
- ・これからも市民の為に良い図書館作りをしてください。
- ・今年度は年度当初から新型コロナウイルスの影響で三密を避けるため諸々の活動に制限が課せられたことから、計画した活動を行えなかったという面がある。しかしながらその間を利用し、常設コーナーを見なおして資料の入替とラベルの装備を行ったり、新たな分類による新コーナーや特設コーナーの設備、配架の見直し・レイアウト変更などに努めたことは評価できる。
- ・コロナ禍の中多くの取り組みがなされ、結果を出されていることに感謝いたします。いくつか私なりの目線で考えを書かせていただきましたが失礼があればお許しください。子どもの足が向けば大人の足も向きます。また高齢者や障がいを持たれる方の利用しやすさは、市民全員の利用しやすさにつながると思います。今後のご活躍を祈念しております。
- ・コロナ禍の中、閉館中や講座等中止が続く中、日常業務中にはできないことを実行・実施している努力はすばらしい。
- ・コロナ感染拡大防止対策で休館や開館時間制限の中、色々と工夫しながらの図書館運営における努力は評価します。
- ・スタッフが前向きに取り組まれていることが分かります。国分寺図書館はどの本も読んでみたいと思わせるマジックを感じます。いろいろ工夫されているのでしょう。
- ・“どうしたら利用しやすい”図書館になるかを常に考えていらっしゃるスタッフの皆さんの努力が感じられます。感謝いたします。
- ・図書館に行きたくなるような図書館。子どもはもちろん大人にとっても心地よく感じ、楽しい空間であってほしいものです。家族連れで訪れ、沢山の本を借りてうれしそうに帰って行く姿を見かけるとうれしくなります。
- ・いつ利用させていただいても職員の皆様の対応に温かさを感じます。大切なことです。これからもお願いいたします。
- ・親子連れが楽しそうに利用されていました。
- ・自治医大の予防講座はぜひ続けてほしいです。勉強になります。
- ・「ティーンズ読書クラブ」の成長を期待します。
- ・「ティーンズ読書クラブ」の活動のサポートは大変良いと思います。子どもたちがどのような本に興味、関心を持っているのか、一般の市民にもわかりやすく「ティーンズ読書クラブ大賞」のような企画を設定して一年間に読んだ本のおすすめベスト3を展示するなどの工夫でまた活動が広がるのではないのでしょうか。
- ・2階は床がピカピカで清潔でした。
- ・以前からの課題であったトイレの改良に一步前進の努力をされたことは評価できる。今後とも引き続き室内環境の改善に御努力願いたい。
- ・難しいと思いますが、エレベーターの設置を望みます。高齢者にとって階段はきついです。
- ・駐車場は余程タイミング良く行かないとスペースが見当りません。何か方策はないでしょうか。
- ・図書館の催し等のPRをより一層充実させるとよいと思います。
- ・講座や研修等は後期に開催するより前期に開催した方が有効と考えます。
- ・カウンターでお世話になる司書の方々が近頃よく変わられるように感じています。親しくなった方にならいろいろと聞いたりお願いしたりもしやすいですが、そうでないと聞きづらかったりもします。同じ方に長く努めていただくことは難しいのでしょうか。
- ・〈希望〉県立美術館、県立図書館、宇都宮市立美術館、図書館、宇都宮文化会館、宇都宮文化センター等々の催しもののパンフレットなどを入口ロビーに見やすく置いていただけたらと思います。できれば上野の西洋美術館、上野文化会館、東京博物館、科学館なども。

令和2年度事業評価シート(様式1)

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							外部評価 (図書館協議会のコメント)
I 知識と情報の拠点としての図書館							
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実							
		1 資料の収集と保存	ア)市立図書館資料のバランスを考慮した、市民に役立つ資料の充実を図ります イ)参考資料を含む幅広い資料収集と、長期にわたる資料保存を行います	南河内図書館の特色である児童書を積極的に収集し充実に努めるとともに、各小中学校へおすすめ本・新着本のリストを配布し情報の提供に努めます。 レファレンスに対応可能な資料を積極的に収集すると共に、県立図書館との協定に基づく永年保存誌と市内他館に所蔵の無い児童向けの雑誌を継続して保存します。また、痛みの激しい資料や情報が陳腐化した資料の買い替えを行います。	記述 記述	児童資料(基準日12月末日) 1,054冊(前年度比113%) 各小中学校へ、季節ごとのおすすめ本や新着本のリストを掲載した「本のおたより」を4回配布しました。また、問い合わせや予約が多い児童書をシリーズで購入しました。書架に戻ってはすぐに貸出されるほど、多くの利用をいただいています。 参考資料(基準日12月末日) 11冊(前年度比79%) こどものとも、かがくのとも、たくさんのふしぎなど児童向け雑誌8誌を継続して収集し、利用者の要望に応えられるよう保管しております。	・シリーズ本が揃っているのは嬉しい。 ・痛みの激しい資料の入れ替えは嬉しい限りです。貸出の促進になります。 ・「本のおたより」の配布は学校にとってありがたいと思います。学校がどのように活用したかについても追跡でわかると良いと思います。 ・「本のおたより」の配布は図書館へ足を運ぶきっかけともなるのでとてもよいと思う。 ・各小中学校への本のリストの掲載などが記されたおたよりを4回配布された企画はとても良いことだと思います。図書館の情報を親子で知り得る機会でもあると思います。 ・資料本については、最新のものの購入をお願いしたい。 ・児童向け雑誌は楽しみにしている児童も多いと思われる。 ・「かがくのとも」などの児童向け雑誌が充実していて良い。 ・「こどものとも」「かがくのとも」「たくさんのふしぎ」などは時間が過ぎても手取りたい資料です。ぜひ保存してください。 ・「こどものとも」「かがくのとも」など3館で揃えて欲しい本です。 ・洋書をシリーズで購入されたようですが、広く市民に知らせてほしいです。 ・児童書が充実して季節の本の展示も目をひきます。ただ「ひなまつり」の本を集めた展示と背中合わせの展示のタイトルが「冬本ははじめました」のままなのは怠惰ではないですか。タイトルも大事だと思います。 ・県内図書館に所蔵していない資料の購入は誇らしいですね。
		2 市民ニーズを把握した図書の収集	市民の要望にかなう図書を収集するための市民ニーズの把握を行います	図書館の利用状況や市民ニーズ把握のためのアンケート調査を実施する共に、予約・リクエスト内容を精査するなどして、幅広い資料の収集に努めます。	記述	利用者からのリクエストにおいて、県内図書館に所蔵がない本5冊を新規購入いたしました。また、アンケートやレファレンス内容を精査し、蔵書が少ない洋書をシリーズで購入しております。	
		取組実績	南河内図書館の特色でもあり、小学校への団体貸出しでの要望も多い児童書を積極的に購入いたしました。映像化や要望が多い資料については内容を精査し、購入しており貸出にも繋げることができております。				
3 サービスの提供の向上							
		1 インターネットによる調べ物の支援	利用者用パソコンを活用した、インターネットによる調べ物の支援を推進します	マニュアル類を整備するなどして、利用者用パソコン活用を推進とともに、図書資料と併用による充実したレファレンスサービス実現に努めます。	記述	12月末日までは、OPAC(オンライン蔵書目録検索システム)が利用できなかったため、利用者用パソコンを使って図書館ホームページから検索できることをご案内する他、窓口での所蔵検索やレファレンスを実施するなど、利用者支援に努めました。	
		2 より容易で効率的な資料・情報の提供	デジタル図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	引き続き、市広報誌や館内掲示等による「デジタル版CD」の周知、および広報やホームページによる「下野新聞データベース」活用のPRに努めます。	記述	利用者用パソコンの利用:54件(基準日12月末日) ※9月16日から利用サービス再開 「下野新聞データベース」の利用方法について、利用者用パソコンの机に説明を貼り、周知を図っていますが、今年度の利用は1件でした。	・利用者用PCの使用が可能であるのにOPACの使用ができないのは不可解です。早期に利用再開してください。 ・利用者支援に努力されている様子がうかがえます。実際の画面を通しての説明は分かりやすいので、これから心がけていただきたい。 ・インターネットと図書館資料との併用のレファレンスサービスは継続してください。 ・広報誌などのCD版の周知など継続してください。 ・新聞などのデータは必要なときにあるというのが大切。利用者が少なくとも公的なものとして収集・整備は行ってほしい。 ・データベースのPRはもっと多くの人の目にふれるような工夫をお願いします。
		取組実績	利用者用パソコンの基本操作説明を積極的に実施しています。また図書館ホームページからの予約方法等についての質問にお答えする際、利用者用パソコンを使い、実際の画面を見せながらわかりやすく説明することを心がけました。				

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価 単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
II 子どもの読書活動を推進する図書館								
1 学校との連携による子ども読書活動の充実								
	1	学校図書館支援	学校図書館支援のために、定期的な訪問を行います	事業の案内を通して定期的訪問や情報交換を継続し、学校図書館との連携の維持強化を図ります。	記述	スムーズな貸出の一助となるよう、小学校への団体貸出し向けの利用案内を作成しました。団体貸出における学校図書館との確認作業は電話にて随時行っており、連携の維持強化が図れています。		・利用案内などのマニュアル作成はよいと思う。 ・学校との連携の素晴らしさを感じました。定期的訪問や情報交換などは継続してほしい。 ・学校図書館を手厚く支援するには豊富な図書資料の充実が必要です。そのため図書購入費の予算の増加を切望します。 ・団体貸出し向けの利用案内の活用を期待します。 ・今後も小学校への図書の貸出し力を入れていただければと思います。図書館によっては中学校ともつながったようですので考えてみていただければ幸いです。 ・読み聞かせなどを通して子どもたちが少しでも本に対して興味を持ってくれたらと願います。 ・新型コロナウイルスによる感染防止の観点から外部のボランティアの読み聞かせを行わなかった小学校もありましたが、校長先生にとっても悩ましい判断だったのだと推察します。
	2	小学校への読書普及活動の充実	ア)小学校への団体貸出により、身近に本のある環境を作ります イ)図書館ボランティアによる小学校での読み聞かせなど、読書普及活動の充実を図ります	地域内の小学校を対象に、各クラスの要望に合った図書を、1クラス50冊を上限に1カ月間の貸出を継続実施します。 ボランティアによる朝の読み聞かせを継続実施します。	記述 記述	南河内地区内の全小学校に、1回50冊を上限に1カ月の貸出を継続して実施しております。ファックスや電話でのレファレンスのほか、当日レファレンスも受付をし、要望に合った本の貸出に対応しました。 読み語りボランティア「らこんて」による朝の読み聞かせの実施 ・吉田東小学校…全学年(月1回) ・吉田西小学校…全学年(月2回) ・祇園小学校…全学年11月から再開		
取組実績			小学校への団体貸出に携わる保護者の要望に応じ、レファレンスだけでなく選書作業の支援も行いました。要望に合った本の貸出に繋げることができました。					
2 家庭での読書活動の支援								
	1	親子で読書を楽しむきっかけづくり	おはなし会の開催など、親子で読書を楽しむきっかけづくりを行います	おはなし会・工作会・コンサートなど、親子で参加できる事業を開催し、読書をする楽しさが広がるよう努めてまいります。	記述	参加者が密にならないような七夕スタンプラリーやハロウィンミッションといった季節のイベントを実施しました。親子でミッションに挑戦したり、季節を感じる本に触れたり、楽しみながら参加していただくことができました。		・できる事業を含めて進めていただいたことに感謝します。 ・コロナ禍でも工夫して企画してくれてありがたい。 ・コロナの影響が大きいです。 ・様々なイベントを通して親子で読書を楽しむきっかけ作りになってほしい。 ・保護者を対象にした講演会の実施は重要。まず親から読書の楽しさを知ってほしい。 ・家読の効果を実感してください。 ・日本の伝統行事は大切にしてください。 ・コロナ禍のために幼児用スペースの使用を控えるような表示があります。奥の方の絵本の利用の阻害にはなっていないのでしょうか。
	2	子ども読書活動を促進する保護者対象事業	保護者を対象に子どもの読書活動を推進する講演会等を実施します	「赤ちゃんといっしょ」などの保護者向け事業を継続して開催します。家族で参加ができる読み聞かせの実演やチラシ・図書館HP等でおすすめ本の紹介をします。	記述	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「赤ちゃんといっしょ」は今年度休止としました。事業は開催できておりませんが、保護者が読み聞かせをする際の参考になるよう、赤ちゃん絵本を5つのテーマに分けました。レファレンスの際にも役立っております。		
	3	図書館情報の周知	家庭での読書活動を支援するため、保育園等を通した図書館情報の周知を図ります	南河内地区内の各保育園・幼稚園に、児童向けの催し物のチラシ等を配布して周知を図ります。	記述	節分やひな祭りの工作会を予定しておりますので、ポスター掲示やチラシの配布を実施し、周知を図ります。		
取組実績			赤ちゃん絵本を「あそび」「いろ・おと・かたち」「うたのえほん」「すきなもの」「せいいかつ」の5つのテーマに分けたことにより、読み聞かせをする保護者が本を選びやすくなる環境となりました。					
3 子どもの読書活動推進のための読書環境等の充実								
	1	児童書の充実	『子どもの読書活動推進計画』に基づき、資料の充実を図ります	引き続き課題図書や優良図書を積極的に受け入れます。またリクエストを受け、利用者のニーズに沿った図書を選書します。	記述	課題図書やすいせん図書のほか、厚労省「子どもたちに読んでほしい本」を昨年度に引き続き収集し、展示しました。また、小学校国語教科書に掲載されている本の展示を実施しました。特に低学年向けに対する需要が高いため、蔵書がない本は新規購入を検討してまいります。		・児童書の充実が図られていることはなによりのことと思います。広報するために小学校に出向き、昼の放送に参加させてもらうような取り組みも考えられるように思います。学校の受け入れは勇気のいることだったと思います。 ・教科書に掲載されている本の展示はよい案だと思つ。 ・おすすめ図書ガイドを小中学校、保育園、幼稚園などに配布していただきたい。
	2	小中学生向けの講座や読書案内の充実	ア)小・中学生の司書体験を通して、図書館への関心を深めていきます イ)子ども向けの講座や読書案内等の充実を図ります	学校からの要請に応じ、職場体験や施設見学を引き続き行い図書館の関心を深めていきます。 基幹職員、ボランティア団体と協力し、おすすめ図書ガイドの作成と配布を実施します。また、子ども向けの各講座の充実を図ります。	記述 記述	2月にジュニアリーダーズクラブに参加している学生の受入を予定しております。職場体験は今年度はまだ実施予定がありませんが、施設見学は12月に1校の受け入れをし、見学と質疑応答の他、本の貸出を実施しました。 今年度は高学年向け図書ガイドを作成中です。表紙のイラストを南河内第二中学校の美術部にお願いしているため、完成まで連絡を密にとり、連携強化にも努めます。		・ガイドの表紙などのイラストを中学生に依頼することにより、生徒と図書館との交流の機会が増え、図書館利用促進につながると考えます。 ・ピピオトークなどのグループが図書館内で活動できることを願います。
		児童書の貸出冊数、市内3小学校への団体貸出冊数	全館 平成26年度 → 令和2年度 児童書…142,283冊 → 150,000冊 団体… 23,790冊 → 30,000冊	各館 令和元年度 → 令和2年度 児童書…52,289冊 → 52,500冊 団体…14,068冊 → 14,500冊	数値	児童書貸出(基準日12月末日) 34,373冊(前年度比89%) 市内小学校への団体貸出(基準日12月末日) 4,488冊(前年度比43%)		
取組実績			小学校国語教科書が改訂されたため、国語教科書に掲載されている本の展示を行っております。児童だけでなく保護者への貸出もあることから、家庭での読書活動促進にも繋げることができていると思われる。					

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
Ⅲ 利用しやすく役立つ図書館							
1 柔軟な運営体制の構築							
		1 図書館評価	図書館評価による運営のさらなる改善を図ります	図書館の外部評価を基に基幹職員と協議し、計画的に改善を実施いたします。	記述	棚のサインがわかりにくいというご意見をもとに、一般書架の小説や文庫の棚に著者の見出しを作成しました。児童書架には南河内図書館の十進分類法キャラクターを配し、親しみやすい雰囲気をつくることができました。	<ul style="list-style-type: none"> ・書棚のサインの見出しはわかりやすく見やすくなりました。 ・フロアが明るく清潔なことは人を呼ぶためのベースかと思えます。今後も取り組みを進めていただければと思います。 ・2階ホールが居心地の良い空間になるような工夫を望みます。 ・スポンサー制度周知の継続を。
		2 民間企業の図書館活動への参加	雑誌スポンサー制度など、民間企業の図書館活動への参加を促進します	雑誌の種類の実績につながる雑誌スポンサー制度のPRをHP・ポスター・FMゆうがお等を通し行い、広く周知を図ります。	記述	館内、玄関や雑誌架にポスターを掲示しておりますが、現在スポンサーはまだついておりません。引き続き周知に努めます。	
取組実績			書架へのサイン作成のほか、館内の照明が薄暗いところがあるというご意見をもとに基幹職員と協議し、玄関ホール及び2階ホールの照明についてLED改修工事を実施しました。特に2階ホールは現在、新聞閲覧スペースとなっておりますが、明るく見やすくなりました。				
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実							
		1 レファレンスサービス	ア)市と他の行政機関との連携によるレファレンスサービス等、適切な資料提供を行います	市内各施設の情報を迅速に提供できるよう努めます。パンフレット等の資料提供を行います。	記述	近隣の薬師寺歴史館だけでなく、市内各施設のパンフレットや催し物のチラシ等を収集し、提供しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ間での情報共有は重要なこと。これからも継続を。 ・レファレンスに関する事項は記録帖があると便利です。 ・レファレンスサービスは重要な課題です。新規購入は素晴らしい。
			イ)蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	レファレンス事例を記録し、また図書館スタッフ間で事例の共有を行い、サービスの充実に役立ちます。	記述	レファレンス記録帳を作成し、スタッフ全員で情報共有を図っています。また、類書が少ない本に関しては、新規購入をし、レファレンスサービスと蔵書の充実に努めました。	
		2 レファレンス受付件数	全館 平成26年度 → 令和2年度 5,929件 → 6,600件	各館 令和元年度 → 令和2年度 1,893件 → 2,100件	数値	レファレンス受付件数(基準日12月末日) 735件(前年度比50%) ※レファレンスサービス再開8月1日から	
		3 相互貸借	県内図書館との相互貸借により、リクエストに応えます	幅広いリクエストに応えるために、県内図書館との相互貸借を活用します。	数値	相互貸借受数(基準日12月末日) 177点(前年度比93%) ※相互貸借サービス再開6月1日から	
取組実績			市内図書館に所蔵がない資料については、相互貸借を活用し提供をしました。禁帯出資料も借受先の図書館に相談し、館内貸出での提供をするなど幅広い要望に応じております。				
3 利用者の要望に応じたサービスの充実							
		1 図書館サービスの充実	本と気軽に親しめる図書館サービスの充実を図ります	季節にあったイベントを開催し、関連本を展示することで、気軽に利用できる雰囲気づくりをします。	記述	季節の行事にあわせて七夕スタンプラリー、夏の金魚やさん、ハロウィンミッションなどのイベントを開催しました。季節の本を1冊借りる、棚に隠れているおぼけを探するなどミッションの中にも、関連本に触れられる機会を組み込みました。楽しく参加されている姿が見られました。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中イベントにはご苦労の多かったことと思います。館内の装飾を変えていくことも図書館に足を運んでいただくための重要な要素だと思います。 ・三密を避けたイベントの実施は大変だったと思うありがたい。 ・季節の行事に合わせたイベントに工夫が見られ「また来たい」という気持ちを起こさせる雰囲気。 ・イベントの工夫が見られます。図書館利用に寄与することを期待します。 ・書庫にも良い本がありますね。 ・閉架書庫の中に結構いい本があるので、開架に移動することは有効だと思います。 ・リサイクル市は有効活用につながります。児童館などへの配布の可能性はあります。
		2 所蔵資料の活用	おすすめ本の展示コーナーなど所蔵資料の活用を行います	市民の関心を引く時事に応じた資料の紹介や、図書館スタッフが選りすぐった図書の展示を継続的に行うなどして、所蔵資料の活用に努めます。	記述	閉架書庫にある児童書を季節に応じて開架へ移動し、四季や行事を感じる展示を行っています。また、「366日きょうは何の日かな?」という毎日の記念日に即した本を1日につき1冊、解説つきで展示いたしました。3か月ごとに入替を行い、新たな本と出合えるよう努めました。	
		3 リサイクル	リサイクルフェアを開催し、図書館資料の有効活用を図ります	除籍資料や寄贈図書、雑誌を対象としたリサイクル市を実施し、市民や学校等の施設に提供します。	記述	保存期間満了に伴う雑誌のリサイクルを10月22日(木)から29日(木)まで玄関ホールにて実施しました。提供数は519点。場所が玄関ホールだったため、多くの方に見ていただけました。書籍のリサイクルを3月に実施予定です。	
取組実績			各種講座の開催が見合わせとなる中、三密にならないような児童向けイベントを実施しました。七夕やハロウィンなど季節の行事と絡めることで、展示や館内の装飾も併せて変更をし、館内の雰囲気づくりにも努めました。結果、多くの方にご利用いただきました。				

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	
							単年度目標評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
Ⅲ	4	誰もが利用しやすい図書館サービスの提供						
		1 乳幼児・児童サービス	乳幼児・児童サービスを充実します	「赤ちゃんといっしょ」「ぬいぐるみのお泊り会」などを実施します。	記述	乳幼児向けの「赤ちゃんといっしょ」につきましては、今年度いっぱい中止を予定しておりますが、継続して開催してまいりたい事業です。児童向けとしまして今後、節分やひな祭りにあわせて工作会を実施する予定です。	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ感染防止対策のための中止は残念ですが仕方ありません。来年は実践を願うばかりです。 ・新聞を読む場合は事前にカウンターでの申し込みが必要と2階の新聞を読むスペースに貼られていました。他館にはなかったと思いますが何の為なのでしょう？ ・新聞閲覧スペースが広くなって良かったですね。利用数が増えそうですね。 ・ゆったりできることは気持ちもゆったりでき、居心地がよくなります。 ・大活字資料は引き続き収集してほしい。 ・大活字本の購入はすばらしい。他の2館にも周知して活用されたい。 ・高齢者や障がいをもつ方々へのサービスについてもいろいろ工夫されているようですので、施設や設備のユニバーサルデザインの広報などに加え、誰もが利用しやすい図書館経営を目指していることを知らせてみるのはどうでしょう。 ・高齢者、障がい児・者への優しい雰囲気図書館作りを望みます。 ・英語版の図書は、外国人向けという視点の外に中高生に活用してもらえるものとしての視点があってもいいように思います。すでに考え済みのことでしたらお許しください。 ・外国人の感想が聞きたいですね。 ・図書館に足を運びたいような様々な企画をされている努力がうかがえた。 ・利用者アンケートの継続を。 	
		2 高齢者サービス	高齢者サービスを充実します	引き続き大活字資料と朗読CDを収集し充実を図ります。	記述	大活字資料(基準日12月末日)13冊(前年度比217%) 新聞を読む椅子が低くて読みにくいというご意見をもとに、新聞閲覧スペースを2階へ移動しました。以前よりも1人のスペースが広くなり、読みやすくなりました。		
		3 障がい者サービス	障がいを持っている方へのサービスを充実します	市広報誌や議会だより等の音訳CDの貸出と、点字絵本、朗読CDを積極的に収集し広く周知を図ります。	記述	音訳ボランティア「こだま」制作、広報しもつけ音訳CDのコーナーを貸出カウンター横に設置しています。貸出や返却の際に、一般利用者にも見ていただけるよう周知に努めています。		
		4 外国人へのサービス	外国人の方へのサービスを充実します	外国語の利用案内の掲示を継続するとともに洋書の充実を図ります。	記述	英語版の利用案内は引き続き掲示しています。また、洋書の蔵書が少ないことから、ご利用いただきやすい初級から中級向けの一般書20冊を購入しました。		
		5 市民サービス	市民の要望に応じた幅広いサービスを充実します	アンケートを実施し、市民の要望を把握しサービスに繋がります。	記述	7月25日(土)から8月9日(日)まで利用者アンケートを実施し、回収率は100%でした。蔵書について、CDやDVDへのご要望が多くみられましたので、購入ジャンルの検討の際に参考にまいります。		
		取組実績	誰もが気軽に利用いただけるように各種イベントを企画するだけでなく、それらの掲示物を作成する際は、誰が見てもわかりやすいということを念頭に作成しています。文字の大きさや色味に注意するなど多くの方に見ていただけるよう工夫をしました。					

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価	外部評価 (図書館協議会のコメント)
							単年度目標評価	
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館								
1 地域情報の収集、保存、提供								
		1 地域資料・行政資料	ア)市広報誌など地域情報の収集、保存、提供をします	市の広報誌や議会だよりの収集、保存、提供をします。	記述	昨年度に引き続き、市の広報誌や議会だより、社協だよりを製本しました。製本することで長期間の保存ができ、利用者からの要望にも応えることができます。		<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌などはばらけやすいので、製本することは使い勝手としては良くなるなと思いました。 ・資料の製本など工夫されているのがよい。 ・製本することにより長期間の保存はもちろんのこと利用も便利です。すばらしい。
			イ)市議会の議事録や市の予算書・決算書など行政資料を保存します	市の予算書・決算書などの行政資料の収集、保存、提供に努めます。また、見出し等をつけて分かりやすい書架構成を図ります。	記述	市の予算書、決算書などを収集しています。最新版はカウンターで保管しているため、利用者によりわかりやすいように案内を作成、掲示しました。		
取組実績			地域情報の提供依頼に長期間応えられるよう、各種資料を製本しました。また、行政資料についての案内を郷土コーナーや各種パンフレット提供コーナーに掲示し、周知を図っております。					
2 郷土資料の積極的な収集、保存、提供								
		1 郷土資料	郷土資料の収集・提供を図り、地域学習活動の支援をします	郷土資料の収集・提供を継続し、郷土コーナーの充実に努めます。また、郷土の関心を深めるため郷土に関する講座の開催も検討してまいります。	記述	郷土資料(基準日12月末日)54冊(前年度比146%) 内訳が購入7冊、寄贈45冊、その他(製本)2冊であることから、今後も県内各機関からの寄贈資料を積極的に収集してまいります。		<ul style="list-style-type: none"> ・図書館発信でもつけ風土記の丘や薬師寺歴史館の広報がなされ、利用増加につながるようになっていきたいものです。 ・郷土資料は常に出版情報に目配りしながら網羅的に収集してください。 ・郷土資料については、情報収集して取り寄せなどをお願いしたい。 ・歴史ある下野市です。ぜひ郷土に関する講座の開催の実現を。 ・ポスターやチラシなどは重要な資料。ぜひ収集してください。
			2 地域ゆかりの関係資料	地域刊行資料、地域ゆかりの関係資料を積極的に収集し、保存・提供します	引き続き基幹職員を通して行政各課や市内各施設で作成した地域刊行資料等の積極的な収集と保存に努めます。	記述		
取組実績			郷土資料は県内及び市内各機関からの寄贈に頼るところも多いので、受入から提供まで迅速に処理をすることに努めました。前年同月と比べると、より多くの資料を受入ることができました。					

南河内図書館

大項目	中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度目標(評価指標) 令和2年度	指標	単年度目標の取組結果	外部評価
							単年度目標評価
V 市民とともにある図書館							
1 生涯学習の機会や交流の場の提供							
		1 図書館ボランティア	図書館ボランティアに関する交流会や講座を開催します	基幹職員と協力し、3館でボランティア交流会を開催するほか、自館のボランティアとの交流会も継続して実施します。また、ボランティア活動の取り組み結果等をホームページに掲載し周知を図ります。	記述	4月4日(土)に南河内図書館ボランティア総会を実施し、各ボランティアの活動についての確認と交流を図ることができました。また、各ボランティア団体の紹介ポスターを玄関の掲示板に貼り、チラシを置くなど周知に努めています。	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関を入ったよく目立つ場所に各図書館ボランティアの紹介があり、情報が書かれた小さなチラシが団体毎に持っていけるように用意されていて、興味を持ってもらうためにも大変良い工夫と思いました。 ・ボランティアを大切にしたり増やしたりする取り組みはどんどん進めたいものです。公民館との連携も考えられるかもしれません。 ・ボランティア総会の実施はとても良いことである。 ・館内の飾りつけに絵画作品を活用することはすばらしいことと思います。ここでもボランティアの活躍が期待されます。 ・ボランティアに参加してくれる人が増えることを期待します。 ・地元の住職さんを招いての文学講座はとても良い企画。
		2 レファレンス室資料の充実	レファレンス室の資料を充実し、市民の学習活動を支援します	参考資料の充実を図るとともに、市民の学習活動の支援に努めます。また、新しい情報を提供できるように順次資料の更新を図ります。	記述	参考資料受入数(基準日12月末日) 11冊(前年度比79%)	
		3 開かれた図書館	市民の交流の場・発表の場として開かれた図書館づくりを行います	市民を講師に迎えた講座の開催を積極的に行います。	記述	下野薬師寺の住職を講師に招き、文学講座「宮沢賢治・宗教と文学Part2」を10月(計3回)に実施しました。感染症対策をとりながら、参加者の皆さんにもご協力いただき、無事開催することができました。また、南河内地区の小中学校(計7校)の児童・生徒の絵画や書道等の作品を11月～2月にかけて玄関ホールで展示予定です。	
取組実績		昨年に引き続き、下野薬師寺住職による文学講座を計3回実施しました。定員が例年の半分以下の設定であったため合計30名の参加でしたが、はじめて受講される方もおり、市民の生涯学習の場として提供ができました。					
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの実現							
		1 ボランティアの養成と支援	図書館ボランティアの養成と支援を行います	朗読ボランティア講座を継続して実施し、ボランティアの養成の支援をします。また新たなボランティア参加者を募るなどして若い方の参加の促進を図ります。	記述	朗読ボランティア講座など、今年度は開催を見合わせておりますが継続して開催してまいりたい事業です。また、ボランティアの勉強会や練習の場として会議室等を利用いただき、ボランティア活動の支援を行っています。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアのスキルアップ研修は継続してください。 ・通常活動の困難な時こそ、何らかの新たな活動を考え行ってほしいです。いろいろな事業ができない中、次年度はできるものと信じ計画立案をよろしくお祈いします。 ・ライブを体験することは素晴らしい。来年こそは実現を期待します。 ・市民との協働事業の充実を望みます。
		2 市民協働事業	市民との協働による図書館事業の充実を図ります	市民や市民団体と協力した事業の開催を実施します。	記述	昨年度好評いただいた自治医科大学管弦楽団などの各種コンサートは、三密を避けることが難しいため、今年度は中止予定です。継続して開催してまいりたい事業ですので、今後も関係維持に努めます。	
取組実績		10月末日現在、各種講座は見合わせているものが多いですが、ボランティアからのレファレンス受付や大型絵本の貸出など活動への支援を積極的に実施しております。					
3 利用者への接遇の向上							
		1 職員の接遇と人材育成	図書館業務マニュアルによる接遇研修の充実と人材育成を図ります	各種研修に積極的に参加し、スタッフの業務スキルの向上に努めます。	記述	県立図書館が開催する研修や講演会への参加を予定しております。また、自社のオンライン研修を受講し、スキルアップを図っております。	<ul style="list-style-type: none"> ・スキルアップは継続して行ってください。 ・研修は重要なスキルアップ。 ・職員の研修にはぜひ参加を。 ・利用者に媚びる接遇をする必要はないが、できるだけ明るい表情での対応が望ましい。
取組実績		スタッフのスキルを鑑み、オンライン研修を積極的に受講しております。研修資料を閲覧することで情報共有をし、全員のスキルアップが図れるよう努めています。					

総 評（南河内図書館）

【所見等】

- ・おおむね適正に運営されています。
- ・おおむね良好に管理運営を行っている。
- ・コロナ禍の中、又、緊急事態発令など今までに経験したことのない状況の中、それぞれに工夫して運営に当たっている姿勢は評価に値します。
- ・コロナが収束して図書館本来の姿に戻したいものです。
- ・コロナ禍ということで活性化の中心となるべきイベントができなかったことは残念ですが、今年をバネに次年度はより質の高いイベントが実施できることと思います。館内の環境整備に力を入れておられるようであればいいことだと感じました。人が集まる場所ですから明るく美しいことは重要なことと思います。各種サービスについても次年度への変更点改善点等考えていच्छることと思います。まずは横軸としての図書館間の情報共有と特色ある取り組みの住み分け、縦軸としての学校や他機関との連携を大切により一層の発展を祈念しています。
- ・今年度は年度当初から新型コロナウイルスの影響で三密を避けるため諸々の活動に制限が課せられたことから、計画した活動を行えなかったという面がある。しかしながらそうした中で 書架を分かりやすくするサインの作成や赤ちゃん絵本の5つのテーマへの分類など、利用者の利便性の向上につながる工夫の努力をしたことは評価できる。
- ・1階の児童コーナーの赤と青のスペースがコロナ禍で活用できないのが残念ですね。
- ・閉架書庫に埋もれている児童書を季節に応じて開架に移動する工夫を行っていることも評価できる。
- ・市民に親しまれる図書館作りに力を入れて頑張っていることがよく分かります。ありがとうございます。
- ・イベントなどに関しても創意工夫が見られる。
- ・要所要所に職員の皆様の努力の様子がうかがえた。市民の皆様の要望に応え、これからも努力していきたい。
- ・学校との連携の素晴らしさを強く感じました。
- ・利用者の意見に基づいてLED化による室内照明の改善など利用者のため室内環境の整備に努めていることを評価したい。
- ・2階に読書や新聞を読める場所作りは成功していると思いますが、利用者の意見はどうなのでしょう。工夫をされてもっと良いものを望みます。
- ・2階のホールのレイアウトを考慮してください。
- ・ボランティアの養成講座ですが、初心者と5年～10年以上読み聞かせを続けている方ではスキルに大幅に差があると思います。初心者向けの基礎養成講座と経験者向けのスキルアップ講座に分けて実施して頂けるとより充実した講座になると思います。また紙芝居は全くジャンルが違うので、ブックトークやストーリーテリングに力をいれて、ぜひスタッフの方も一緒に実践していただければありがたいです。
- ・同じ著者、同じ出版社の本で同系統の内容であるにも係わらず異なった分類で別の棚に置かれている本が見られます。また、著者名による分類番号の付与と書名による付与がどちらもあります。分野によりで良いのである程度整理できないでしょうか。
- ・高齢者が気軽に足を運べるような企画を望みます。

令和2年度報告(基幹的業務・3館合同の取組)

大項目 中項目	小項目 評価対象事業	中期的計画	単年度の取組結果
I 知識と情報の拠点としての図書館			
1 市民の要望に応えることができる多様な蔵書の充実			
	【成果指標】 人口一人当たりの蔵書冊数・貸出冊数	平成26年度 → 令和2年度 蔵書冊数… 5.2冊 → 5.5冊 貸出冊数… 6.2冊 → 7冊	※令和元年度実績 (人口60,062人) 蔵書冊数… 5.3冊 貸出冊数… 5.9冊 令和2年度 (人口60,053人) 蔵書冊数… 5.3冊 貸出冊数… 5.3冊
2 ICT等の活用による情報提供の充実			
	ホームページの活用	ホームページを活用した、図書館の利用案内、行事などの情報発信をします	ホームページアクセス数 ※令和元年度実績 486,090件 令和2年度 554,179件(前年度比114%)
	インターネットを使った予約サービスの充実	ア)インターネットを使った資料の予約を行い、利便性を確保し資料の回転率の向上を図ります イ)パスワード登録によるインターネットからの資料予約、貸出・予約情報照会等の周知を図ります	インターネット予約数 ※令和元年度実績 10,407件 令和2年度 13,345件(前年度比128%) ポスターやチラシによる館内掲示をして周知しました。新規登録時には、パスワード登録をすることで、ホームページからの予約や、現在借りている本・紙芝居・雑誌を1回延長できることを案内し、促進を図りました。
3 サービスの提供の向上			
	より容易で効率的な資料・情報の提供	デジ図書やパソコンの活用など新しい技術・機器等を取り入れ、容易で効果的に資料・情報を利用できるようにします	館内の利用者用パソコンでのインターネットによる情報提供を行いました。 令和元年度… 1,160件 → 令和2年度… 401件(前年度比35%) ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、利用者用パソコンの使用中止期間(4月1日～9月15日)があったため、利用数は減少した
	市政情報の録音版の普及	音訳ボランティアの協力により市政情報の録音版を作成し、誰でも利用できる環境づくりの継続	市広報誌や行政カレンダー等の市政情報誌を音に訳して、CDを作成・配布しました。 市広報誌等のデジ版CDの周知を、館内掲示・ホームページにて行いました。
II 子どもの読書活動を推進する図書館			
1 学校との連携による子ども読書活動の充実			
	学校図書館支援	学校図書館担当職員等と連携し、子どもの読書推進のための研修会や意見交換会の充実を図ります 図書館システムのネットワーク化を検討し、学校図書館のレファレンスサービス網の構築を図ります	4月に開催予定の意見交換会が中止となったため、各校の取組み等、書面での調査を実施しました。 7/30(木)に研修会(講演「新聞で学びをひらく」/講師:下野新聞NIEコーディネーター)を開催しました。 学校との図書館システムのネットワーク化は行っていませんが、学校からのレファレンスを電話やメール、ファックスで受け付け、団体貸出時の資料提供を行っています。
III 利用しやすく役立つ図書館			
1 柔軟な運営体制の構築			
	行政と指定管理者	行政主導の基幹的業務となる経営部門と、指定管理者制度の活用による柔軟なサービス体制の充実を図ります	行政主導による館長会議と主任会議を毎月開催し、年間事業計画の調整や、総合的な蔵書管理、情報交換等を行っています。新型コロナウイルス感染拡大防止対策をとりながら、指定管理者と協力し、図書館業務が円滑に進むように努めています。
2 利用者の課題解決に役立つレファレンスサービス機能の充実			
	レファレンスサービス	蔵書の充実と、インターネットを活用したレファレンスサービス網の構築を図ります	3館の特色を踏まえたファレンス室の資料(参考資料)の充実を図りました。石橋図書館:「文藝年鑑2020」、国分寺図書館:「医療白書2020年版」、南河内図書館:「朝日ジュニア学習年鑑2020」等。インターネットを活用したレファレンスサービス網については、引き続き情報を収集し検討してまいります。
3 利用者の要望に応じたサービスの充実			
	おすすめ図書ガイド	18歳までの年代別おすすめ図書ガイドを作成し、発行します	毎年、読み聞かせボランティア団体の協力のもと作成しています。本年度は小学校高学年向けを作成し、各学校を通して対象児童に配布予定です。
IV 郷土の歴史と豊かな市民文化の拠点としての図書館			
2 歴史館・資料館等と連携した講座の実施			
	歴史館・資料館等との連携	歴史館・資料館等と連携した各種講座を実施します	「下野学歴史講座～『児山城跡発掘調査成果について』(12/17)(石橋館)」「文学講座～『春と秋』(国分寺館)」「文学講座～『宮沢賢治・宗教と文学PART2』(南河内館)」等を開催し、郷土の歴史や文化を学ぶ機会を設けました。
3 郷土資料の積極的な収集、保存、提供			
	【成果指標】 郷土資料の所蔵数	平成26年度 → 令和2年度 6,448冊 → 7,000冊	※令和元年度実績 8,838冊 令和2年度 8,960冊

V 市民とともにある図書館			
1 生涯学習の機会や交流の場の提供			
【成果指標】 講座・講演会等 参加者数	平成26年度 → 令和2年度 5,220人 → 6,000人	※令和元年度実績 6,153人	令和2年度 4,248人(前年度比69%) ※新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、中止となった事業が多かったため、利用数は減少した
2 市民との協働を推進し、市民とともにある図書館づくりの充実			
【成果指標】 図書館ボランティア 活動人数	平成26年度 → 令和2年度 122人 → 150人	※令和元年度実績 118人	令和2年度 113人(前年度比96%)
3 公民館との連携による利用者促進と生涯学習活動の充実			
公民館との連携	公民館と相互協力し、図書館ボランティアとの協働による各種講座を開催します	図書館の講座や各種イベントのポスターを配布する等、周知を図りました。南河内東公民館講座「秀郷と将門」(全2回)では、南河内図書館による関連本の展示を行いました。	
	公民館における図書の貸出・返却の研究をします	リサイクル市の案内の他、公共機関向けリサイクル資料リストを事前配布する等、公民館への資料の有効活用を図っています。南河内東公民館講座「秀郷と将門」(全2回)では、南河内図書館による関連本の貸出しを行いました。	

総 評 (3館共通)

【所見等】

- ・おおむね適正に運営されています。
- ・コロナ感染症の為、イベント等を中止したり、閉館や短縮しての閉館など思うように活用してもらえなかった1年でしたが、それぞれの館で感染症対策を講じながらイベントを実施したり、使いやすいよう書架の整理を行ったりして、大変ありがたい。
- ・コロナ禍、緊急事態発令、三密を避けるためイベントや講座・研修会などの中止の中、3館とも色々な工夫で閉館・運営に当たり、努力の跡が見られました。
- ・中止や人数制限のために正当な評価には至りませんでした。しかしながらコロナ禍の中での図書館運営の創意・工夫は評価します。
- ・コロナ禍でありながらも3館共に充実した運営に向け工夫されたと思います。
- ・コロナ禍で制約のある中でも何とか利用できたのは他市町より良かったと思います。利用者に添った職員の対応には感謝です。
- ・コロナ感染拡大防止対策で入口で検温・アルコール消毒、そして返却された本などを除菌する除菌機の導入などの対応は素晴らしい。
- ・閉館中、図書館スタッフは戻ってきた本の消毒や整理、密を避けるためのイスやテーブルの移動・消毒など大変な苦労だったと思います。
- ・新型コロナウイルスの影響で目標数字の多くが減少してしまったものの、インターネット予約数のようにかえって増加したのものもある。結果として迫られる形でネット利用の普及につながったのは良かった。
- ・読み聞かせボランティアの方々は予防対策に気を配りながら学校での活動に取り組んでくださいました。地域へ出向く活動が少なくなっているので、一層温もりを感じました。
- ・館内のオルゴールの音色がとても心地よい。
- ・大活字本や録音CDなど、必要としている人のために更にPRをされるとニーズが高まるでしょう。
- ・おすすめ図書ガイドについては、青少年が図書に親しむためのガイダンスとして有効なので、引き続き年代別ガイドの作成・配布に努めて頂きたい。
- ・歴史館、資料館などと連携した講座は有意義と思われるので、今後とも続けていって頂きたい。
- ・南河内東公民館講座の際にはわざわざ出向いて関連本の展示をして頂きお疲れ様でした。日常業務に差し支えない範囲内でこうしたサービスをしてくれるのは大変だと思いがたい。
- ・レファレンスの事例を記録することは結構なことで、それらを3館で共有し過去のレファレンスと同じ内容のレファレンスへの対応に活かしたり、参考にしたりすることで迅速な対応が可能になる。
- ・学校との図書館システムのネットワーク化をぜひ前向きに進められると、調べ学習などの利用が広がると思います。
- ・願わくば児童書に精通した児童書専門の司書をおいて頂きたいと思います。
- ・高齢化社会に対応するサービスの具体的な企画を提示ください。
- ・蔵書本も随分充実してきたと思う。それらを使ったイベントや特設コーナーの設置、本や資料の紹介などを今後も積極的に行うとよいと思う。
- ・インターネットを利用した予約が着実に伸びている。外出時間を減らしたいということもあろうが、インターネットを利用したサービスの向上は今後ますます必要と思われる。とともに、情報機器の扱いが苦手な方への手厚いサポートや人のぬくもりも、地域と共にある図書館として忘れてはならないと思う。
- ・毎年アンケートをとって頂いているが、今後は是非、現状では利用者があまり多くないと見られる外国人および障がい者の方々の要望もアンケートで把握するようにして頂きたい。
- ・今年度はコロナ禍で充実した講座なども開催できず企画運営にご苦労されたことと思います。利用者側もパソコン検索ができなかったり、学習室に制限があったりと不便なことが多く、図書館離れがおきないよう危惧しております。来年度も状況は同じかと思われますが、読み聞かせボランティアの活動も縮小しており、図書館でスキルアップの勉強会など実現できるよう児童書専任のスタッフを配置して頂けるよう切に希望します。

令和2年度 下野市図書館月別利用状況

R3年3月末現在

月	貸出人数(人)			入館者数(人)			貸出数(冊)		
	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内	石橋	国分寺	南河内
4	1,952	1,434	917	3,086	2,337	1,961	7,422	6,791	4,715
5	1,277	1,253	688	1,915	1,869	1,339	4,987	6,384	3,681
6	2,222	2,035	1,224	4,192	3,298	2,532	8,560	9,331	6,224
7	2,614	2,349	1,433	5,660	4,112	2,819	9,631	10,308	6,842
8	2,895	2,474	1,555	6,570	4,574	2,950	10,964	11,712	7,931
9	2,740	2,366	1,388	6,111	4,065	2,735	10,169	10,711	7,836
上半期	13,700	11,911	7,205	27,534	20,255	14,336	51,733	55,237	37,229
10	2,972	2,342	1,316	6,691	4,172	2,587	11,119	10,908	7,424
11	3,126	2,018	1,530	7,472	3,634	2,894	11,407	9,591	8,289
12	2,717	2,285	1,429	6,109	4,102	2,684	9,859	10,541	7,284
1	2,869	2,388	1,742	5,695	4,218	2,818	10,338	11,309	9,430
2	2,644	2,319	1,582	6,736	4,391	3,052	9,598	10,925	8,419
3	3,021	2,425	1,569	6,912	4,649	3,335	10,173	10,665	7,478
下半期	17,349	13,777	9,168	39,615	25,166	17,370	62,494	63,939	48,324
計	31,049	25,688	16,373	67,149	45,421	31,706	114,227	119,176	85,553
R1年度	35,630	29,625	17,637	109,475	73,489	49,677	134,552	127,496	91,371
前対比	87%	87%	93%	61%	62%	64%	85%	93%	94%
R2 合計	73,110			144,276			318,956		

開館 日数	286	287	272						
日 平均	109	90	60						
月 平均	2,587	2,141	1,364	5,596	3,785	2,642	9,519	9,931	7,129

◎新型コロナウイルス感染拡大防止対策に関する開館状況

- ・ 4月 1日(水)～4月13日(月) 午前9時～午後5時まで時短開館
- ・ 4月14日(火)～4月20日(月) 午前9時～午後1時まで時短開館
- ・ 4月21日(水)～5月13日(水) 臨時休館
- ・ 5月14日(木)～5月31日(日) 午前9時～午後1時まで時短開館
- ・ 6月 1日(月)～6月22日(月) 午前9時～午後5時まで時短開館
- ・ 6月23日(火)～ 通常開館
- ・ 11月25日(水)～ レファレンス室(コーナー)の学習席等、座席数制限・入替制で利用再開

- ※ 石橋図書館 6月16日～ 6月20日まで蔵書点検の為休館
- ※ 国分寺図書館 11月10日～11月14日まで蔵書点検の為休館
- ※ 南河内図書館 9月29日～10月 7日まで蔵書点検の為休館